

令和2年度

福岡市美術館 活動の記録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2020

凡例	3
----	---

美術館の主要事業	4
美術館日誌	4
福岡市美術館リニューアル事業	4

展示活動	5
特別企画展	5
公募展	8
コレクション展(近現代美術)	9
コレクション展(古美術)	11
企画展	13
展覧会関連記事	16

教育普及活動	19
どこでも美術館	19
スクールツアー	21
つきなみ講座	22
福岡ミュージアムウィーク2020	23
夏休みこども美術館2020	25
ファミリーDAY	26
バリアフリーギャラリーツアー	27
第6回いきヨウヨウ講座	28
博物館実習	28
職場体験学習	28
図書企画	29
オンライン大作戦	29
ボランティア活動	30
出版物	33

連携・協力事業	35
三館連携・協力企画	35
その他の連携企画	36
協力事業	36

調査・研究活動	37
紀要の発行	37

収集活動	38
美術資料	38
図書・映像資料	40

美術資料の修復・貸出	41
修復	41
貸出	41

美術館リニューアル事業	43
広報業務	43
カフェ・レストラン	44
ミュージアムショップ	45

施設の利用状況	46
展示室	46
ミュージアムホール等	52
令和2年度月別観覧者数	52

名簿	53
----	----

資料	55
----	----

本冊子は福岡市美術館の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの活動の記録である。

本冊子の執筆者は次のとおり。それぞれの肩書きについてはp.53の名簿を参照のこと。
岩永悦子、山口洋三、鬼本佳代子、後藤恒、正路佐知子、崎田明香、宮田太樹、忠あゆみ、中務美紀、上野真歩、中原千代子(以上、学芸課)、高木啓(リニューアル事業課)。

データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料(8)および奥村資料(10)であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に移管した。

1	郷土作家 ^(注1)	A	油彩画等 ^(注2)	作品番号
2	日本作家	B	日本画等 ^(注3)	
3	海外作家	C	水彩画等 ^(注4)	
4	黒田資料	D	素描	
5	東光院仏教美術資料	E	版画	
6	松永コレクション	F	写真	
7	太田コレクション	G	彫刻等 ^(注5)	
9	石村コレクション	Ha~Hf	工芸 ^(注6)	
11	森山コレクション	I	書跡	
12	三宅コレクション	J	文書	
13	山崎朝雲資料	K	その他	
14	一般古美術資料	L	映像	
15	研究資料			
16	西本コレクション			
17	本多コレクション			
18	クスマコレクション			
19	藤森静雄コレクション			
20	森田コレクション			
21	川村コレクション			
22	栗田コレクション			
23	リーコレクション			
24	小西コレクション			
25	門田コレクション			
26	教育研究資料			

例) 1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

1. 九州および山口県、沖縄県出身・在住作家。

2. A(油彩画等)の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵するとと思われる作品もまたAに分類した。

3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。

4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。

5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。

6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

令和2年	
3月31日(火)	「第51回福岡市美術展」開催(4月3日まで)
4月 4日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館(5月18日まで)
5月16日(土)	福岡ミュージアムウィーク2020 (開催中止)
7月18日(土)	ボストン美術館展「芸術×力(げいじゆつ と ちから)」(開催中止)
10月17日(土)	藤田嗣治と彼が愛した布たち(12月13日まで)
10月31日(土)	ファミリー DAY (11月3日まで)
12月 1日(火)	美術資料収集検討会
12月24日(木)	ヒグチユウコ CIRCUS (2月7日まで)
令和3年	
2月 9日(火)	美術資料収集審査(古美術)
2月12日(金)	美術資料収集審査(古美術・近現代)
3月30日(火)	「第52回福岡市美術展」開催(4月4日まで)

福岡市美術館リニューアル事業

1 事業目的

昭和54年11月の開館から約40年が経過する福岡市美術館において、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面でのさらなる魅力向上を図ることを目的とする(平成31年3月リニューアルオープン)。

2 事業方式

事業方式：PFI(RO)方式
事業類型：サービス購入型,一部独立採算(レストラン等)

3 契約の相手方等

契約の相手方：福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社
事業期間：平成28年2月23日から令和16年3月31日まで

4 事業範囲

設計・建設業務	実施設計,改修工事,工事監理など
開館準備業務	リニューアル広報,収蔵品等情報システム開発など
維持管理業務	建築物及び設備保守管理,清掃,警備など
運営業務	利用者対応,広報・集客,レストラン・カフェの運営など(P39～41参照)

特別企画展

ボストン美術館展 芸術×力



ポスターB2

会期	令和2年7月18日(土)～10月4日(日) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
会場内容	特別展示室 ボストン美術館の設立150周年という記念すべき年に開催される本展には、貴重なコレクションの中から「芸術と力」に焦点を当てたおよそ60点を展示する。最も注目されるのは、ボストン美術館・日本美術コレクションの中でも傑出した存在である《吉備大臣入唐絵巻》と《平治物語絵巻》の二大絵巻が揃って展示される。
出品点数	56点
主催	ボストン美術館展 福岡展実行委員会
協賛	大日本印刷
企画協力	NTVヨーロッパ
協力	日本航空、日本通運
後援	アメリカ大使館
観覧料	一般1,600円(1,400円)、大・専門学生1,200円(1,000円)、高校生800円(600円)、小・中学生500円(300円) ※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数	0日間
観覧者数	0人
印刷物	【ポスター】(B2) 【図録】B5、234ページ

展覧会担当：宮田太樹

藤田嗣治と彼が愛した布たち



ポスターB2



会場風景

会期 令和2年10月17日(土)～12月13日(日)
会場 特別展示室
内容 藤田嗣治(1886-1968)は、日本とフランスで活躍し、戦後はフランスに帰化して一生を終えた。藤田の終の棲家であるメゾン＝アトリエ・フジタ(エソンヌ県、フランス)には、彼が日本からフランスまで持ち渡り、生涯手元に留め置いた染織品や着物などが収蔵されて、それらがしばしば藤田の絵画のモチーフとなっている。また藤田は、布を集めるだけでなく、針仕事にも熱心であったことが知られている。本展ではこうした藤田と布との関係に注目し、染織などが作品中で重要な役割を示す絵画、メゾン＝アトリエ・フジタ所蔵の染織品や衣装を同時に展示し、「布」という視点から藤田の画業を検証した。
また、中村研一生涯美術館のご協力により、藤田が戦争画の画中に描いた中村研一所蔵のテーブルも特別展示した。
なお、本展は美術館連絡協議会より、「2020年 美術協大賞 奨励賞」を受賞した。

出品点数 121点
主催 福岡市美術館、TVQ九州放送、西日本新聞社
企画協力 林 洋子(美術史家)
後援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道
観覧料 一般1,300円(1,200円)、高大生700円(600円)
※()内は20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、および中学生以下は観覧無料
開催日数 50日間
観覧者数 18,568人
印刷物 【ポスター】B2
【チラシ】A4
【図録】B5・160頁

展覧会担当：岩永悦子、山口洋三

ヒグチユウコ展CIRCUS



ポスターB2



会場風景

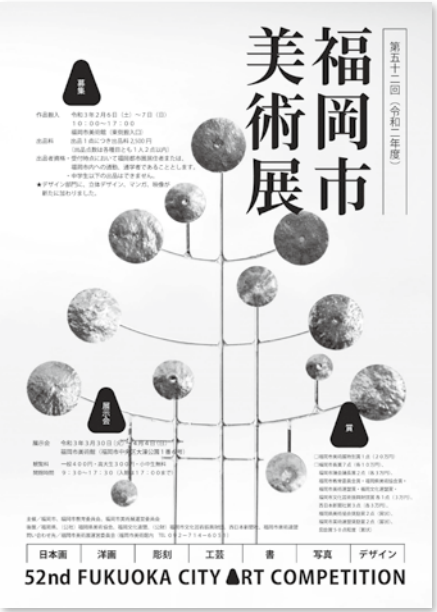
会期 令和2年12月24日(木)～2021年2月7日(日)
会場 特別展示室
内容 空想と現実を行き交う自由な発想とタッチで、制作のみならず絵本の刊行など幅広い活躍をみせる画家ヒグチユウコ。本展では、自身初となる大規模個展として、約20年の画業の中で描かれた作品を公開。ヒグチユウコが描く猫や少女、キノコ、この世ならぬ不思議な生きものたちが繰り広げる、楽しくもどこ切ないサーカス(CIRCUS)の世界が楽しめる内容となった。
出品点数 500点以上
主催 福岡市美術館、テレQ、朝日新聞社
後援 福岡県、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道
特別協力 グラフィック社
協力 白泉社、祥伝社、ブロンズ新社、講談社
企画協力 世田谷文学館
観覧料 一般1,200円(1,100円)、高大900円(800円)、小中500円(400円)
※()内は20名以上の団体料金、満65歳以上の割引料金
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数 34日間
観覧者数 21,106人
印刷物 【ポスター】B2
【チラシ】A4

展覧会担当：正路佐知子

関連イベント				
日	イベント名	時間	内容	会場
10月25日(日)	講演会 藤田嗣治と彼が愛した布たち	14：00～15：30	講師：岩永悦子 聴講者数：150人	ミュージアムホール
11月8日(日)	講演会 フジタよ眠れー 菊畑茂久馬の戦争画論を読み解く+「絵描きと戦争」上映会	14：00～17：00	講師：山口洋三 聴講者数：講演会142人、上映会84人	ミュージアムホール
12月6日(日)	TVドキュメンタリー番組「絵描きと戦争」上映会	10：00～11：30	聴講者数：36人	ミュージアムホール
12月6日(日)	つきなみ講座スペシャル 藤田嗣治の戦争画《神兵の救出到る》を読み解く	14：00～15：30	講師：岩永悦子 聴講者数：106人	ミュージアムホール

公募展

第52回（令和2年度）福岡市美術展



ポスターB2



福岡市美術展特別賞「天ー甘木紋りにてー」中村 美香

関連イベント

日	イベント名	時間	会場
3月12日(金)	入選者発表	—	1階ロビー
4月4日(日)	表彰式	13:00～13:30	ミュージアムホール

※ギャラリートークは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

会期	令和3年3月30日(火)～4月4日(日)
会場	特別展示室、ギャラリー(全室)
内容	福岡市美術展運営委員会は、美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。今回からデザイン部門を4分野に拡充し、全7部門に610人(739点)より応募があり、438人(463点)が入選。このうち特別賞など入賞は70点であった。

出品及び展示状況									
区分	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計	
出品(応募)人数	21	166	16	52	125	198	32	610	
出品(応募)点数	21	210	19	58	127	271	33	739	
展示点数	入賞入選	16	130	13	40	77	24	463	
	招待審査員	4	4	5	4	6	5	33	
	計	20	134	17	44	82	29	496	

入賞者	(1)福岡市美術展特別賞1人(工芸)賞金20万円 (2)福岡市長賞7人(各部門1人)賞金各10万円 (3)福岡市議会議長賞2人(工芸・写真)、福岡市教育委員会賞1人(洋画)、福岡県美術協会賞1人(デザイン)、福岡市美術連盟賞1人(彫刻)、福岡文化連盟賞1人(書)、福岡市文化芸術振興財団賞1人(日本画)、西日本新聞社賞3人(洋画・書・写真)賞金各3万円 (4)福岡県美術協会奨励賞2人(写真・デザイン)、福岡市美術連盟奨励賞2人(工芸・書) (5)奨励賞48人(日本画部門2人・洋画部門13人・彫刻部門2人・工芸部門4人・書部門8人・写真部門17人・デザイン部門2人)
主催	福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
後援	福岡県、公益社団法人福岡県美術協会、福岡文化連盟、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟
観覧料	一般400円、高大生300円、中学生以下無料
開催日数	6日間
観覧者数	2,935人
印刷物	【ポスター】B2 【開催要項】A3二つ折り 【図録】A4変形・43頁

コレクション展

近現代美術室A

■コレクションハイライト①：美術史を彩った巨匠たち

令和2年4月28日(火)～令和3年5月9日(日)

当館コレクションを代表するコラン、ダリ、ミロ、シャガール、ブランクーシ、ロスコ、そしてフォンタナのそれぞれの代表作、合計7点を展示。コレクション展示の序章とした。展覧会担当：山口



■平成元年の日本人像

令和2年4月28日(火)～6月28日(日)

日本広告写真家協会(APA)企画の「平成元年の日本人像」は、平成元年(1989年)に生きた様々な職業、年齢の日本人を所定の条件のもと撮影した106点の写真群。これらの写真から20点を展示。「令和」を迎えた今、改めて「平成」を振り返った。展覧会担当：山口



■夏休み子ども美術館2020「みるみるこわい絵の世界」

令和2年6月30日(火)～8月30日(日)

当館所蔵の近現代美術作品を、「みればみるほどこわい」、「はなしがこわい」、「はらはらしてこわい」、「こわいつてなんだろう?」の4つの章に分けて子ども向けに展示した。展示室には作品をみるときのヒントが書かれたガイドマップを設置した。展覧会担当：上野



アンリ・マティス〈ジャズ サーベルをのみこむ人〉1947年

■抽象と具象のあいだ―甲斐巳八郎を中心に

令和2年9月1日(火)～10月25日(日)

「絵画における抽象と具象」をテーマとし、令和元年度に新収蔵した甲斐巳八郎(1903～1979)の作品を中心に紹介した。甲斐のほか恩地孝四郎、吉原治良、上田宇三郎、猪熊弦一郎などの作品20点を「甲斐巳八郎の絵」「遊ぶ色と形」「必要にして十分な形」「風景を捉え再構成する」の4章立てで展示。具象的・抽象的な表現の効果が作品にどのように現れているか、比較・考察しながら鑑賞することをねらいとした。展覧会担当：忠



甲斐巳八郎〈クチイ〉1970年代

■藤田嗣治と関わった画家たち

令和2年10月27日(火)～12月27日(日)

中村研一、吉原治良、菊畑茂久馬など、藤田嗣治と何らかの関わりをもち、または強い関心を向けた画家たちがいた。特別展「藤田嗣治と彼が愛した布たち」に関連して、彼・彼女たちの作品を特集。作品14点と、TV番組「絵描きと戦争」関連資料3点を展示した。展覧会担当：山口



■モダン・フォトグラフィー I：ヨーロッパ、II：日本

I期：令和3年1月5日(火)～2月14日(日)

II期：令和3年2月16日(火)～3月28日(日)

企画展「ソシエテ・イルフは前進する」に関連して、当館が所蔵する戦前の写真を展示紹介した。I期はヨーロッパで活躍した、マン・レイ、モホイ=ナジ・ラースロー、アレクサンドル・ロトチェンコの写真を合わせて42点展示。II期は、瑛九、恩地孝四郎、山口正城のフォトグラム、長谷川伝次郎の写真を合わせて30点紹介した。展覧会担当：正路



アレクサンドル・ロトチェンコ〈ライカを持つ女性(報道写真家 Evgenia Lemberg の肖像)〉1934年(1994年リプリント)



瑛九〈コンストラクション〉1936年

近現代美術室B

■新収蔵品展(近現代美術)

当館の休館からリニューアルオープンまでの平成28年～令和元年度の間に、新規収蔵した近現代美術作品29点を展示した。
展覧会担当：山口

令和2年4月28日(火)～6月28日(日)



■殿敷侃

広島に生まれ山口を拠点とした美術家・殿敷侃(1942-1992)は原爆孤児としての経験から、見捨てられたモノや忘却された者を常に意識し作品を制作した。平成30年度に収蔵した作品全18点に、館所蔵の資料や写真パネルを加え展示。殿敷の作品展開を紹介しながら、その活動を振り返った。
展覧会担当：正路

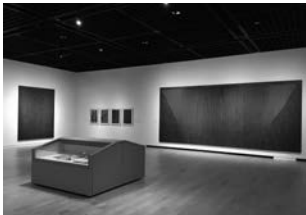
令和2年6月30日(火)～8月30日(日)



■菊畑茂久馬：「絵画」の世界

福岡を拠点に活動する画家、菊畑茂久馬(1935-2020)。「九州派」で活躍し、前衛美術の旗手と注目された彼は、1960年代末に美術界から遠ざかり、1983年の連作《天動説》で美術界に復帰した。独特の質感が特徴の、彼の代表的絵画18点を展示。*令和2年5月21日に作家が急逝したため、ご遺族より作品、資料などをお借りし回顧的内容とした。
展覧会担当：山口

令和2年9月1日(火)～10月25日(日)



■纏うわたし、見るわたしやなぎみわとリサ・ミルロイ

当館が所蔵するリサ・ミルロイ(1959-)とやなぎみわ(1967-)の作品に、女性あるいは女性の衣服が多く登場することに注目し、企画した展覧会。ワンピースやパンプスを描くミルロイ

令和2年10月27日(火)～12月27日(日)



の絵画と、案内嬢が登場するやなぎの写真作品とあわせて展示することで、まなざしのありかや、女性と衣服の関係を検証した。
展覧会担当：正路



近現代美術室C

■コレクションハイライト②：九州の美術家たち

九州・山口地域は、日本近代美術の黎明期から現在に至るまで優れた美術家を多数輩出してきた。明治期の坂本繁二郎から1990年代の村上勝まで、福岡ゆかりの美術家の作品12点を展示。
展覧会担当：山口

令和2年4月28日(火)～令和3年5月9日(日)



■コレクションハイライト③：1960年代以降の現代美術

当館の近現代美術コレクションの多くは、第2次大戦後以降に制作されたものである。特に1960年代には、世界各国で前衛美術運動がおこり、従来の価値観を超えた新しい美術が多数登場した。1960年代から現在までの美術動向を代表的な作品34点(寄託品2点含む)で通覧。途中、2点を展示替えした。
展覧会担当：山口

令和2年4月28日(火)～令和3年5月9日(日)



東光院仏教美術室

■東光院のみほとけ

通期
薬王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された、重要文化財を含む仏像を展示。本尊・薬師如来坐像、二組の十二神将立像など、重要文化財25躯をはじめとする木彫仏を、4ヶ月に一度展示替えをしながら公開した。
展覧会担当：後藤、宮田



古美術企画展示室

■田中丸コレクション うつわ歳時記

当館に寄託されている田中丸コレクションは、福岡玉屋の経営者・田中丸善八氏(1894-1973)によるもので、九州の主要な窯を網羅する近世陶磁で構成されている。本展ではその中から、季節の情趣を文様、形、釉景色などで表した器を紹介した。唐津、高取、薩摩、現川など30点を展示し、古陶の鑑賞を通じて四季のうつろいを感じていただける内容であった。
展覧会担当：久保山炎氏(一般財団法人田中丸コレクション学芸員)、後藤

令和2年4月14日(火)～6月14日(日)



《絵唐津萬蒲文茶碗》(重文)
田中丸コレクション

■新収蔵品展(古美術)

平成28年度から令和元年度にかけてご寄贈いただいた作品および購入した作品15点を展示した。
展覧会担当：宮田

令和2年4月14日(火)～6月14日(日)



■芸術とパトロン

令和2年6月17日(水)～8月30日(日)
芸術制作の支援を行うパトロンの存在に注目し作品19点を展示。「権力をどう描く?」「祈りの美術―国を護り、権威を示す」「唐物への憧憬」「美の創造」の4章構成で、古代から近世に至る芸術とパトロンの関わりを概観するとともに、作品に期待された機能にも焦点を当てた。
展覧会担当：宮田



重要文化財 足利義持(布袋図)室町時代

■仙厓展

江戸時代の禅僧・仙厓義梵の書画を展示。前期・後期で大幅な展示替えを行った。前期は「仙厓に魅せられた人々」というテーマでコレクションの視点から12点の作品を紹介。後期は「仙厓ブームをたどる」と題して13点の作品

令和2年6月17日(水)～11月15日(日)



を紹介。仙厓ブームをたどりながら、仙厓評価の変遷をたどった。
展覧会担当：宮田

■アンティークどうぶつ園

動物たちをモチーフにして描かれ、あるいは造形された作品に注目。インダス文明の動物土偶をはじめ、中国古代の明器、東南アジア・日本の陶磁・漆工・染織。中国・日本の近世絵画など、アジア各地の古美術作品30点を展示した。
展覧会担当：後藤

令和2年9月1日(火)～11月15日(日)



《芝山象嵌 九貢象唐子文屏風(部分)》幕末～明治時代

■風を視る

令和2年11月17日(火)～令和3年1月31日(日)
日本・東洋美術にみられる風動表現に注目し、作品13点を紹介。「風を視る・聴く・嗅ぐ」「人知を超えた風」「心に巻き起こる風」の3章構成とし、風をあらわした作品を通して、眼に見えない風を視覚化するための手法や、当時の人々の心性に迫った。
展覧会担当：宮田



■インド更紗からアフリカン・プリントへ

令和2年11月17日(火)～令和3年1月31日(日)
鮮やかな色彩と色もちのよさで、世界中で人気を博したインド更紗はインドネシアやヨーロッパでも制作されるようになり、その遺伝子はアフリカン・プリントに継承されている。更紗が変遷する500年の歴史をたどり、作品20点を紹介した。
展覧会担当：岩永



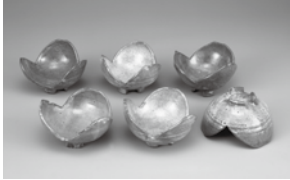
西澤株式会社(デザイン)、三陽染工株式会社(製造)
《植物文様スーパーワックスプリントハンガー見本》1993年

松永記念館室

■春の名品展

令和2年4月14日(火)～6月14日(日)

松永コレクションの中から18点を精選して展示。《上野割山椒形向付》など、松永耳庵翁が春の茶事で用いた茶道具などを紹介した。



《上野割山椒形向付》

■コプト裂と古代オリエント文物

令和2年6月16日(火)～8月30日(日)

松永コレクションには、茶道具だけではなく、東西の様々な美術・工芸品が含まれている。中でも古代エジプトの織物であるコプト裂のコレクションは充実している。本展ではそれらに焦点をあて、古代オリエントの土器・工芸品と合わせて21点を展示した。

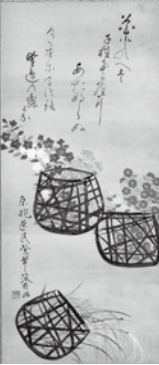


《赤地人物文綴織裂》エジプト6-7世紀

■秋の名品展

令和2年9月1日(火)～11月15日(日)

「電力王」と称された実業家にして、耳庵と号する茶人でもあった松永安左工門氏は、優れた日本・東洋の古美術を蒐集した。そのコレクションの中から、秋に相応しい茶道具の名品17点を精選して展示した。耳庵翁が秋の茶会の定番としていた尾形乾山筆《花籠図》、柿蒂茶碗 銘白雨など。

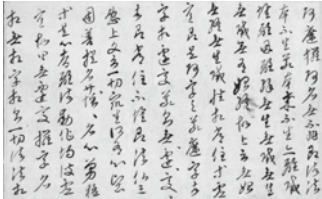


尾形乾山《花籠図》(重文)

■茶道具としての仏教美術

令和2年11月17日(火)～令和3年1月31日(日)

茶道具以外の用途として制作された作品20点を2章構成で紹介。「仏教と茶」では、前近代における両者の関係を概観した。「近代数寄者と仏教美術」では、近代以降の動向に焦点を当てた。



重要文化財 空海《金剛般若経開題残巻》

展覧会担当：宮田

企画展

ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画



チラシ表面



会場風景

会 会 内	期 場 容	令和3年1月5日(火)-3月21日(日) 近現代美術室B ソシエテ・イルフは、福岡を拠点として活動した写真愛好家の高橋渡、久野久、吉崎一人、許斐儀一郎、田中善徳、工芸家の小池岩太郎、画家の伊藤研之からなる前衛美術グループである。彼らは福岡市内で出会い、1930年代半ばから1940年にかけて「前衛的である」ことを宣言し、同人誌の作成や写真、シュルレアリスムや抽象芸術を参照した各々の制作を行った。戦時体制の強化とともに文化統制や物資制限が最も激しくなる時期に彼らが精力的に活動し、作品制作や、他地域の写真家との交流を行っていたことは戦時下の美術家の足取りとして稀有である。 当館では1987年に「ソシエテ・イルフ 郷土の前衛写真家たち」を開催している。本展では先の展覧会を踏まえ、グループがどのような環境のもとに成立し何を目指していたのかを、集合写真《イルフ逃亡》および同人誌『irf 1』、当時の地図、作家の旧蔵アルバムなどから紹介した。名古屋の写真家・坂田稔の作品や彼との交流を示す雑誌記事は、福岡でも全国的に隆盛していた新興写真や前衛写真の流れを受容していたこと、戦時下の活動の方向性に坂田との交流が大きな影響を与えたことを示すものであった。 本展は会場の前半で以上の資料を展示し、後半で7人のメンバーの作品・資料を展示した。作品のキャプションは最小限とし、7名の作品の特色と、彼らが共有していた新たなイメージへの希求を示すことを意図した。今後更なる調査が必要であるが、イルフが作り出した豊かなイメージは福岡の近代写真史の奥深さを示している。
出 品 点 数	主 催	95点(スライド含む) 福岡市美術館
助 成	協 力	芸術文化振興基金、福岡文化財団 MEM
観 覧 料	開 催 日 数	コレクション展示観覧料 67日間
観 覧 者 数	観 覧 物	6,114人(会期中のコレクション展観覧者数) 【ポスター】B2 【チラシ】A4 【図録】A5・144頁 【ハンドアウト】A3二つ折り、2種

展覧会担当：忠あゆみ

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月9日(土)	「ソシエテ・イルフのスライドショー」担当学芸員によるレクチャー	15:00～16:00	講師：忠あゆみ 聴講者数：32人	ミュージアムホール
1月30日(土)	つきなみ講座「ここではないどこかへ!日本のシュルレアリスム」	15:00～16:00	講師：忠あゆみ 聴講者数：45人	ミュージアムホール
2月27日(土)	記念講演会「前衛写真(フォト・アヴァンギャルド)の行方ー〈ソシエテ・イルフ〉を巡る写真家たち」	14:00～15:30	講師：竹葉文(名古屋市美術館学芸員) 聴講者数：35人	ミュージアムホール
3月6日(土)	記念講演会「趣味と報国：ソシエテ・イルフをもっとよく知るための写真史 1920-1942」	14:00～15:30	若山満大 (インディペンデント・キュレーター) 聴講者数：35人	ミュージアムホール

KYNE《Untitled》2020年



Copyright©2020LOCUS Inc. All Rights Reserved.

会 期 令和2年9月9日(水)～令和4年12月27日(火)
※期間限定展示

内 容 福岡を拠点に活動するアーティストKYNEは、80年代の大衆文化からインスパイアされた作風で近年は海外からも注目を集めている。コロナ禍においても挑戦を止めたくない当館とKYNEの思いが一致し、2階コレクション展示室の出口前壁面(3m14cm×13m)に描かれた壁画を令和4年12月末まで期間限定公開することとなった。

白い壁には、横たわり、窓の向こうを眺めている女性が描かれた。KYNEは本壁画制作にあたり、「公共性と自由」というテーマを設定している。美術館も大濠公園も公的な場所であり、その内側から公共とは何か、自由とは何かと問いかける作品となった。

門田コレクション 中国陶磁4000年の旅



ポスター



会場風景

会 期 令和3年2月2日(火)～4月11日(日)

会 場 古美術企画展示室・松永記念館室

内 容 福岡市博多区の老舗提灯店の前店主で中国陶磁研究家の門田敏郎氏(1931-2016)が半生をかけて蒐集された「門田コレクション」151件(美術資料146件、陶磁器片等の研究資料5件)が平成28年の秋、福岡市美術館に寄贈された。このコレクションは、中国の新石器時代の土器にはじまり、漢、唐、宋、元、明、清と続く各王朝の時代の陶磁器が幅広く集められており、中国陶磁史を照らし出すかのような充実した内容を誇る。当館では平成20年に寄贈された「森田コレクション」に次ぐ大規模な中国陶磁コレクションの受贈となり、特に俑、陶枕、景德鎮民窯の青花(染付)等において新たに加わる種類の作品が多く含まれることで、当館中国陶磁コレクションの網羅性はさらに高められた。今後、美術館において様々な展示を企画してゆく上でも、設定しうるテーマのバラエティを豊かにするものである。

本展はこの一括寄贈を顕彰し、コレクションの全容をお披露目するもので、古美術企画展示室と松永記念館室の両室を使い、一部展示替えをしながら一挙公開した。

出 品 点 数 146点

主 催 福岡市美術館

観 覧 料 コレクション展示観覧料

開 催 日 数 60日間

観 覧 者 数 5,619人(会期中のコレクション展観覧者数)

印 刷 物 【ポスター】B2
【チラシ】A4
【図録】B5・88頁

展覧会担当：後藤恒

関連イベント				
日	イベント名	時間	内容	会場
2月20日(土)	つきなみ講座「福岡市美術館の中国陶磁」	15:00～16:00	講師：後藤恒 聴講者数：25人	レクチャールーム

展覧会関連記事

令和2年4月1日～令和3年3月31日の展覧会・美術館事業に関連する主要な新聞・雑誌・WEB媒体記事をまとめた。

※カッコ内は執筆者名。表記・肩書は元記事のままとした。

特別企画展

ボストン美術館 芸術×カ			
BAILA 第20巻第5号 No.228 p.225(集英社発行)	R2.4.12	こちらArt探偵社! Vol.144 今月はボストン美術館のすごいコレクション(KAORU)	
和楽 第20巻第3号No.192 p.204 (小学館発行)	R2.5.1	邪気を祓う美しき最強の鳥類、孔雀 雪斎の「写実」と応挙の「写生」(藤原えりみ)	

藤田嗣治と彼が愛した布たち		
西日本新聞(朝刊)	R2.10.17	藤田嗣治展きょう開幕／(日高三朗)
西日本新聞(朝刊)	R2.10.23	本社のイベント／特別展「藤田嗣治と彼が愛した布たち」
西日本新聞(朝刊)	R2.11.3	風向計／手仕事が語る藤田嗣治／(大申誠寿)
西日本新聞(朝刊)	R2.11.19	朝刊太郎の雑記帳／消えたノモンハンの絵／(上別府保慶)
読売新聞(朝刊)	R2.11.21	文化／藤田嗣治の画業「布」に着目／福岡市美術館で来月13日まで／(堀美緒)
西日本新聞(朝刊)	R2.11.24	布から読み解く「フジタ」の世界／福岡市美の特別展／謎多き画家、そのこだわり／(諏訪部真)
朝日新聞(朝刊)	R2.11.25	評／福岡市美術館「藤田嗣治と彼が愛した布たち」／衣装へのこだわり 描く作品に／(上林格)
読売新聞(朝刊)	R3.3.17	美連協大賞／藤田嗣治展が奨励賞／福岡市美術館「布」に焦点 画業に光／(陶山格之)

企画展

門田コレクション 中国陶磁4000年の旅		
西日本新聞(朝刊)	R3.1.21	中国古陶磁150点を展示／来年2月から福岡市美術館／博多のちょうちん店店主が収集／門田コレクション
美術新聞 第1184号 16面 (美術新聞社発行)	R3.2.1	福岡市美術館「中国陶磁展」、2日開幕
読売新聞(朝刊)	R3.2.12	研究家が収集 中国陶磁器展／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	R3.2.25	提灯店主 半生かけ名品収集／中国の古陶磁「門田コレクション」に／福岡市美術館で初公開／(手嶋秀剛)
陶説 通巻814号 pp.86-93 (日本陶磁協会発行)	R3.3.1	門田敏郎さんの中国陶磁コレクション(森孝一)

ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画		
西日本新聞(朝刊)	R3.1.4	前衛が見た夢 ソシエテ・イルフとその時代 1／戦争に向かう時代 芸術写真に託した「超現実」の集団／(諏訪部真)
西日本新聞(朝刊)	R3.1.5	前衛が見た夢 ソシエテ・イルフとその時代 2／地方から 強烈な個性 求めて／(諏訪部真)
西日本新聞(朝刊)	R3.1.6	前衛が見た夢 ソシエテ・イルフとその時代 3／転向する画家たち 苦しみにたえ 真理の探究へ／(諏訪部真)
西日本新聞(朝刊)	R3.1.7	前衛が見た夢 ソシエテ・イルフとその時代 4／「国民動員する写真 国策を警戒しつつ 民族や郷土捉える」／(諏訪部真)
西日本新聞(朝刊)	R3.1.8	前衛が見た夢 ソシエテ・イルフとその時代 5／多様な活動短命に 戦後に芽吹く理想 清新な志、今なお／(諏訪部真)
リビングふくおか	R3.1.14	福岡市美術館「ソシエテ・イルフは前進する」 https://mrs.living.jp/fukuoka/event_leisure/reporter/4078364
読売新聞(朝刊)	R3.1.23	戦前統制下 新しい美探求／前衛美術グループ ソシエテ・イルフ展／(堀美緒)
日本経済新聞	R3.1.23	アプローチ九州／福岡市美術館「ソシエテ・イルフ」展 写真文化の先駆者たどる／(井上純子)
朝日新聞	R3.2.3	人・中央・世相 「密」からの逃亡／(花田伸一)
毎日新聞(朝刊)	R3.2.13	美の探求 理想への試み／統制の時代 一瞬のきらめき／(渡辺亮一)
版画芸術 第191号 pp.106-111	R3.3.1	写真芸術の世界 ソシエテ・イルフ はき出された新しい空気／(忠あゆみ)
artscape	R3.3.1	レヴュー／ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画(飯沢耕太郎) https://artscape.jp/exhibition/pickup/10166998_1997.html
西日本新聞(朝刊)	R3.3.18	前衛芸術集団「イルフ」／自由狭められ、妥協点探った足跡を追う「状況を読み解く」(諏訪部真)
日本カメラ 2021年4月号 p.144	R3.3.19	写真展が物語るvol.16／「小さなユートピアを守り続けた福岡の前衛写真家集団」／(打林俊)

web版美術手帖	R3.4.11	「イルフ」が夢見た新しい芸術。 長谷川新評「ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画」／(長谷川新) https://bijutsutecho.com/magazine/review/23852/pictures/2
----------	---------	--

KYNE《Untitled》2020年		
西日本新聞(朝刊)	R2.9.12	女性の視線 その先には…／福岡市美術館／KYNEさんが壁画／(横田里美)
朝日新聞(朝刊)	R2.9.13	青鉛筆
読売新聞(朝刊)	R2.9.17	福岡市美術館に巨大壁画／KYNEさんが手がける
西日本新聞(朝刊)	R2.10.22	文化／福岡市美術館に巨大壁画／ストリートから頭角現したアーティストKYNE／物憂い女性像 地元発のアートとして紹介／(諏訪部真)
美術の窓 第39巻8号通巻463号 p.46(生活の友社発行)	R2.11.20	福岡市美術館×KYNE 13m超の新作巨大壁画が期間限定公開中!

公募展

第52回福岡市美術展		
西日本新聞(朝刊)	R3.4.2	福岡市美術展 入賞・入選作品紹介 上(洋画、彫刻、工芸)
西日本新聞(朝刊)	R3.4.3	福岡市美術展 入賞・入選作品紹介 下(日本画、書、写真、デザイン)

コレクション展

平成元年の日本人像		
西日本新聞(朝刊)	R2.6.25	平成元年の日本人像／被写体さまざま20点／福岡市美術館で写真展

夏休み子ども美術館 みるみるこわい絵の世界		
朝日新聞(朝刊)	R2.7.2	青鉛筆
毎日新聞(朝刊)	R2.8.22	暑い夏には「こわい絵」／福岡市美術館／選び抜かれた13点展示／(田後真里)

殿敷侃		
毎日新聞(朝刊)	R2.7.25	土曜カルチャー／殿敷侃コレクション／福岡市美術館／(渡辺亮一)

仙厓展		
毎日新聞(朝刊)	R2.9.10	仙厓ブームをたどる／禅僧画家の書画展／福岡市美術館／劇場の筆線「養幻身」も／(大塚拓三)

菊畑茂久馬：「絵画」の世界		
読売新聞(朝刊)	R2.9.19	菊畑茂久馬さん展覧会／命削る 闘いの画業／沈黙器、量産期経て…希望の晩年へ／(堀美緒)
西日本新聞(朝刊)	R2.10.15	文化／菊畑茂久馬さん、闘いの軌跡／福岡、長崎で回顧展／「絵画とは何か」を問い続け／(諏訪部真)

アンティークどうぶつ園		
西日本新聞(朝刊)	R2.9.24	動物を精緻に描写／アジアの絵画、陶器、彫刻／福岡市美術館で作品展
wa vol.84 (福岡市文化芸術振興財団発行)	R2.10.9	Art trip in 美術館・博物館の常設展 今こそ各館のコレクションを楽しもう!

茶道具としての仏教美術		
遠州 通巻655号 pp.70-71 (大有発行)	R2.12.1	茶道具としての仏教美術

コレクション全般		
朝日新聞(夕刊)	R2.6.2	現代美術家・菊畑茂久馬さんを悼む／「孤」を貫いた 内なる豊穣／福岡から「反芸術」／作兵衛・藤田戦争画で鍛錬／(福岡市美術館学芸係長 山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R2.7.8	常設展へ行こう!!／福岡市美術館／近現代までの逸品ずらり／(田中仁美)
西日本新聞(朝刊)	R2.7.9	西シ銀の名品が美術館、博物館へ／建て替え工事で本店ビルの129点寄託／(諏訪部真)

朝日新聞(朝刊)	R2.7.29	ヘンリー・ムーアの代表作／福岡市美術館で展示／(上林格)
美術の窓 第39巻第8号 通巻463号 p.117 (生活の友社発行)	R2.8.20	art now／福岡市美術館、ヘンリー・ムーア作品を受託・展示
西日本新聞(朝刊)	R2.9.10	公と芸術 戦後75年／戦争画は終わらない 1／欠落した視点／前衛画家が探し求めた 大きな歴史の「忘れ物」／(諏訪部真)
西日本新聞(朝刊)	R2.11.22	総館長ナビで「お宝」拝見!福岡市美術館／(上)現代アート／ダリ、ミロ、バスキア、ウォーホル…／西日本屈指のコレクション1万6000点／(大西若人)
西日本新聞(朝刊)	R2.12.20	総館長ナビで「お宝」拝見!福岡市美術館／(中)地元の財産／仙厓さん、繁二郎、九州派、仏教美術…／古美術から近現代まで多彩で個性豊かに／(大西若人)
西日本新聞(朝刊)	R3.1.24	総館長ナビで「お宝」拝見!福岡市美術館／(下)前川建築とリニューアル／打ち込みタイル、はつりコンクリート…／公園の自然に溶け込み 親しまれる機能も／(大西若人)

教育普及事業

毎日新聞(朝刊)	R2.9.27	バリアフリーギャラリーツアー／車いす利用者ら楽しむ／福岡市美術館／(大坪菜々美)
朝日新聞(朝刊)	R2.11.1	わたしの作品 できた／福岡市美術館 親子で工作／[ファミリー・デー]
西日本新聞(朝刊)	R2.11.17	こどもタイムズ(上)／誰もが美術を楽しめる場に／福岡市美術館の「バリアフリーギャラリーツアー」を取材した／視覚障害者と一緒に／言葉で絵を伝える／頭の中に絵を描く／(松浦千咲里、平田桃圭、山崎陽葵)
西日本新聞(朝刊)	R2.11.18	こどもタイムズ(下)／誰もが美術を楽しめる場に／福岡市美術館の「バリアフリーギャラリーツアー」を取材した／手話で魅力紹介／車いすだと目線が変わる／(倉掛愛菜、幸松一瑳、畠中悠里那、金子結美、土居薫子、杜陽)
ミュゼ vol.126 pp.12-15 (アム・プロモーション発行)	R2.12.25	SNSネットワークが拓く、コロナ禍の困難を乗り越える可能性(高尾戸美、鬼本佳代子)

その他美術館事業

朝日新聞(朝刊)	R2.4.1	青鉛筆／[大濠公園駅ホームのベンチ装飾]
建築設計REPORT vol.33 表紙、pp.7-10(パナソニック発行)	R2.5.1	建築・設備・展示・運営を進化させ、時代に即した「より開かれた美術館」
BELCA NEWS 172号 pp.43-48 (ロングライフビル推進協会発行)	R2.7.15	特集 博物館・美術館の運営とリニューアル 福岡市美術館リニューアル(梓設計 馬場明、葉村幹樹)
ZENBI vol.18 pp.26-27 (全国美術館会議発行)	R2.9.1	コミュニティの中の美術館として(鬼本佳代子)
西日本新聞(朝刊)	R2.9.16	ここからwithコロナ／福岡市美術館館長 岩永悦子さん(58)／(横田里美)
Casa Brutus 2020年11月号 第21巻10号 No.247 pp.90-93 (マガジンハウス発行)	R2.10.9	名作美術館、再生物語。 Reborn_4 福岡市美術館 前川國男のモダニズムを受け継ぐ端正なりニューアル。(text_Sawako Akune)
日経新聞(夕刊)	R2.11.17	「さわれる美術鑑賞」広がる／茶碗や土器、レプリカと比較／(編集委員 窪田直子)
西日本新聞(朝刊)	R2.12.18	美術／コロナ禍の一年／所蔵品活用へ軸足／鑑賞の意義も再認識／(諏訪部真)

どこでも美術館

当館のアウトリーチ活動として平成28年度より開始した教育普及事業。館外で作品鑑賞や美術体験ができる、当館オリジナルの持ち出し式の教材(ボックス)を使用したプログラムの実施と、教材の貸出しを行っている。主に学校、公民館、病院等を対象とする。

1 どこでも美術館ティーチャーズ・プラス

学校での美術鑑賞授業などに活用してもらうため、ボックスの貸出を行う事業。

対象：主に市内の小・中・高校

貸出ボックス：

絵画①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製

②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》複製

③尾形乾山《花籠図》複製

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画②日本画③彫刻素材④螺鈿⑤版画



絵画②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》複製

貸出校・施設 市内小中学校2件 計822人

貸出校・施設	学年	貸出したボックス	利用日	利用人数
南当仁小学校	1～3	絵画①、②	1月22日	777
東光中学校	1	絵画①、やきもの	2月14日	45

2 どこでも美術館アウトリーチ

当館の学芸員が館外へ出向き、ボックスを活用した美術鑑賞・体験プログラムを行う事業。

対象：市内の院内学級、特別支援学校、離島および公共交通機関で来にくい地域の小中学校、公民館等の高齢者向け活動など。

プログラム内容：

- 絵画・彫刻①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製
②長谷川派《韃靼人狩獵図屏風》複製
③藤浩志《ヤセ犬》

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画②日本画③彫刻素材④螺鈿⑤版画

ワークショップ



公民館での活動のようす(染め・織りものプログラム)

実施校・施設 市内高校1件、公民館8件、美術館1件 全10件 計253人

実施日程	実施校・施設	学年	参加人数(人)	利用ボックス
7月14日(火)	野芥公民館		17	染め・織りもの
7月16日(木)	鳥飼公民館		18	絵画・彫刻②、素材と技法②
8月11日(火)	箱崎公民館		10	絵画・彫刻②、素材と技法②
8月20日(木)	舞松原公民館		20	絵画・彫刻①、素材と技法①
9月5日(土)	大分県立美術館		17	染め・織りもの
9月10日(木)、11日(金)	博多高等学園(特別支援学校)	1～3	101	絵画・彫刻①
9月17日(木)	四箇田公民館		8	染め・織りもの
9月18日(金)	内浜公民館		12	絵画・彫刻①
10月26日(月)	百道浜ふれあいサロン		29	染め・織りもの
11月6日(金)	田隈公民館		21	絵画・彫刻②、素材と技法②

企画担当：中原千代子

スクールツアー

主に市内の小中学校を対象に、児童・生徒が美術に興味を持って美術作品を楽しく鑑賞し、美術館を身近な施設として体験してもらうためのプログラム。当館のギャラリーガイドボランティアが、児童・生徒に向けて、一緒に会話をしながら当館のコレクションを紹介するギャラリーツアーを実施している。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内小・中学校の館外活動は全て中止となった。また、当館でも対面によるボランティアのツアーは中止し、展示室でのワークシートや学芸員のレクチャーを実施した。

市内小・中学校に対するスクールツアー

実施数 団体数1件 児童・生徒7人 引率5人 計12人

来館日程		学校名	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)
令和3年	3月10日(水)	城西中学校特別支援学級	1～3	7	5	12

その他の学校団体

実施数 団体数9件 児童・生徒442人 引率32人 計474人

来館日程		学校名	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)
令和2年	9月9日(水)	精華女子高等学校	1	24	1	25
	9月16日(水)	精華女子高等学校	1	24	1	25
	10月7日(水)	精華女子高等学校	1	23	1	24
	10月9日(金)	福岡大学附属大濠中学校	2	168	7	175
	12月4日(金)	北九州市立八見中学校	2	50	7	57
	12月5日(土)	福岡県立大宰府高等学校芸術科	1～2	50	4	54
	12月16日(水)	リンデンホールスクール小学部	2～3	51	6	57
令和3年	3月27日(土)	佐賀県立佐賀北高等学校美術部	1～3	40	4	44
	3月30日(火)	横手中学校美術部	1～2	12	1	13

その他の団体(コレクション展の自由見学のみ)

実施数 団体数7件 児童・生徒271人 一般39人 引率23人 計333人

来館日程		団体名	児童・生徒	一般(人)	引率(人)	合計(人)
令和2年	10月15日(木)	九州大学芸術工学部(芸術表現論)	36		1	37
	10月16日(金)	九州大学芸術工学部(芸術表現論)	7		1	8
	10月16日(金)	九州大学芸術工学部(現代芸術とコミュニケーション演習)	36		1	37
	11月17日(火)	エミールこども園	150		15	165
	11月18日(水)	福岡デザイン専門学校		39		39
令和3年	1月21日(木)	あゆみらい保育園	30		4	34
	1月24日(日)	九州産業大学	12		1	13

総計 団体数17件 児童・生徒720人 引率60人 一般39人 計819人

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講義を行った。基本的に会場は福岡市美術館レクチャールームであるが、第9回および第11回はミュージアムホールにて開催した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、レクチャールームの定員を54人から30人に変更して開催した。なお、第1回のつきなみ講座を12月に延期したため、12月は2回実施している。

第1回 特別展「藤田嗣治と彼が愛した布たち」に関連して

講師：岩永悦子 開催日：令和2年4月18日(土)15:00～16:00
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため12月6日(土)に延期

第2回 平成元年から見る現代美術(所蔵品を中心に)

講師：山口洋三 開催日：令和2年5月16日(土)15:00～16:00 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

第3回 高齢社会におけるミュージアム

講師：鬼本佳代子 開催日：令和2年6月20日(土)15:00～16:00 聴講者数：22人

第4回 美術館の教育活動を知っていますか?エデュケーションからラーニングへ

講師：嶋田明香 開催日：令和2年7月18日(土)15:00～16:00 聴講者数：15人

第5回 コレクション展「芸術とパトロン」をもっと楽しむために

講師：宮田太樹 開催日：令和2年8月22日(土)15:00～16:00 聴講者数：25人

第6回 どこでも美術館がやってきた～どこでも美術館の活動について

講師：中原千代子 開催日：令和2年9月19日(土)15:00～16:00 聴講者数：17人

第7回 夏休みこども美術館「みるみるこわい絵の世界」をふりかえる

講師：上野真歩 開催日：令和2年10月24日(土)15:00～16:00 聴講者数：13人

第8回 美術とフェミニズム3 衣服、女性、まなざしをキーワードに

講師：正路佐知子 開催日：令和2年11月14日(土)15:00～16:00 聴講者数：14人

第9回 つきなみ講座スペシャル 藤田嗣治の戦争画《神兵の救出至る》を読み解く

講師：岩永悦子 開催日：令和2年12月6日(日)14:00～15:30 聴講者数：106人

第10回 仙厓さんのすべて(1)

講師：中山喜一郎 開催日：令和2年12月19日(土)15:00～16:00 聴講者数：30人

第11回 ここではないどこかへ!日本のシュルレアリスム

講師：忠あゆみ 開催日：令和3年1月30日(土)15:00～16:00 聴講者数：45人

第12回 福岡市美術館の中国陶磁

講師：後藤恒 開催日：令和3年2月20日(土)15:00～16:00 聴講者数：25人

第13回 国際渉外担当員の英語奮闘記

講師：徳永昭夫 開催日：令和3年3月20日(土・祝)15:00～16:00 聴講者数：30人

聴講者数 計342人

福岡ミュージアムウィーク2020

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

博物館・美術館の社会的役割を広く多くの方に知ってもらうために、ICOM(国際博物館会議)により定められた「国際博物館の日」(5月18日)。これを記念して、福岡市内の博物館・美術館等が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」「知識の場」「発見の場」である博物館・美術館の魅力を味わってもらうことを目的とした事業。本年度は18施設が参加した。

連 携 館：福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町屋」ふるさと館、はかた伝統工芸館、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティウム、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハクハク、味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館
期 間：令和2年5月16日(土)～5月24日(日)

■講演会 変わる?ミュージアム ～ICOM京都大会から見えてきたもの

2019年に京都にて開催されたICOM世界大会。その報告と、博物館定義がどう変わるかについて、講師と当館学芸員が対談形式で深掘りするというもの。

日 時：5月23日(土) 13:30～15:30

演 奏：関谷泰弘(ICOM京都大会準備室)

会 場：ミュージアムホール

参 加 費：無料

定 員：180人 事前申込制

■子ども探検隊

小中学生対象のバックヤードおよびギャラリーツアー。

日 時：5月16日(土) 10:30～11:30

会 場：1階ロビー集合。美術館のバックヤードおよびコレクション展示室

対 象：小・中学生

参 加 費：無料

定 員：20人 事前申込制

■つきなみ講座「平成元年から見る現代美術(所蔵品を中心に)」

「平成元年の日本人像」展開催にちなみ、平成元年(1989年)ごろに制作された作品から現代美術を解説。

日 時：5月16日(土) 15:00～16:00

講 師：山口洋三

会 場：レクチャールーム

参 加 費：無料

定 員：54人 当日先着順

■建築ツアー

前川國男が手掛けた福岡市美術館の建築を、バックヤードも含め鑑賞。

日 時：5月17日(日) 10:30～12:00

会 場：1階レクチャールーム集合。美術館のバックヤードおよびコレクション展示室

参 加 費：無料

定 員：20人 事前申込制

■英語ツアー スペシャル

当館ボランティアが英語でコレクション展示を案内するスペシャルツアー。

日 時：5月19日(火)～23日(土) 11:00～ 40分程度

会 場：1階ロビー集合。コレクション展示室

参 加 費：無料

定 員：6人 当日先着順

■初めてのベビーカートツアー

小さいお子さんと一緒に作品を見たい!という人のためのツアー。

日時：5月24日(日) 10:00～10:40 11:00～11:40
会場：2階ロビー集合。コレクション展示室
参加費：無料
定員：各5組 事前応募制

■ギャラリーツアー

当館のギャラリーガイドボランティアが、コレクション展示の中から作品3点を紹介するツアー。

日時：5月16日(土)～24日(日) 11:00～ 14:00～ 40分程度(休館日をのぞく)
会場：1階ロビー集合。コレクション展示室
参加費：無料
定員：なし 当日受付

企画担当：鬼本佳代子

夏休みこども美術館2020

夏休みこども美術館2020「みるみるこわい絵の世界」

当館で毎夏開催している教育普及事業「夏休みこども美術館」。令和2年度は、「こわい」をテーマに作品を紹介した。また、展覧会に関連して2つのこどもワークショップを実施し、「夏休みこどもとしょかんSNS版」ではこども向け図書をオンライン上で紹介した。

期間：令和2年6月30日(火)～8月30日(日)
印刷物：チラシ(A4) ガイドマップ(A3二つ折り)

こどもギャラリー「みるみるこわい絵の世界」

内容：当館所蔵の近現代美術作品を、「みればみるほどこわい」、「はなしがこわい」、「はらはらしてこわい」、「こわいってなんだろう?」の4つの章に分けて子ども向けに展示した。展示室には作品をみるときのヒントが書かれたガイドマップを設置した。
会期：令和2年6月30日(火)～8月30日(日)
作品点数：13点
中学生以下の入場者数：1,579人



こどもギャラリー「みるみるこわい絵の世界」
展示の様子

こどもワークショップ①「きってはってこわい絵をつくろう!」

内容：「みるみるこわい絵の世界」の展覧会を鑑賞後、自分が思う「こわい」を包装紙や色紙、紐などの素材をきりはりして絵にしてもらった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加者をレクチャールームとアートスタジオの2部屋に分けて実施した。
日時：①令和2年8月8日(土) 10:30～11:30
②令和2年8月23日(日) 13:30～14:30
対象：小学校1年生～3年生
場所：レクチャールーム、アートスタジオ
参加人数：①レクチャールーム16人、アートスタジオ12人
②レクチャールーム9人、アートスタジオ11人



こどもワークショップ①
「きってはってこわい絵をつくろう!」の様子

こどもワークショップ②「オンラインでみるみるこわい絵の世界」

内容：Zoomを使いオンラインで、「みるみるこわい絵の世界」に展示している作品を対話しながらいっしょに見た。
日時：令和2年8月12日(水) ①10:30～11:00 ②13:30～14:00
令和2年8月17日(月) ③10:30～11:00 ④13:30～14:00
対象：小学校3年生～6年生
参加人数：①3人、②4人、③6人、④5人

企画担当：上野真歩

ファミリーDAY

若い世代の家族に向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、11月3日の開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、平成25年度より開催している事業。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、美術館内で行うプログラムと、オンラインで行うプログラムを実施した。

日時：令和2年10月31日(土)、11月1日(日)、3日(火・祝)10:00～15:00

延べ参加人数：[美術館とオンラインワークショップ]
1,689人(子ども861人、大人828人)
[オンライン動画配信]期間中の視聴回数 計744回

ボランティアスタッフ：
館内ボランティア30人、博物館実習生4人
印刷物：A4チラシ

講師名のないものは、美術館職員とボランティアが実施した。



「つくろう!羽ばたく色とり鳥」のオンラインワークショップの様子

■ガイドマップで君もアートマスター

内容：親子で会話をしながら楽しく作品を見るために、コレクション展のガイドマップを制作、配布した。

日時：10月31日(土)、11月1日(日)、3日(火・祝)

マップ設置場所：1階・2階コレクション展示室入口

対象：未就学児童から中学生とその保護者

参加者数：847人

■かいとうキッズ お宝みつけ!

内容：コレクション展を鑑賞して、展示作品に関するクイズに回答していくプログラム。

日時：10月31日(土)、11月1日(日)、3日(火・祝)

場所：(受付)1階・2階ロビー、(会場)コレクション展示室

対象：5歳くらいから

参加者数：750人

■おうちでアート 3分ワークショップ

[動画配信]

内容：自宅で簡単にできる工作などのワークショップ紹介動画を5つ制作し、公開した。

日時：10月31日(土)にYouTubeで動画公開

対象：未就学児童から中学生とその保護者

視聴回数：396回

■飼育員さんとみる美術館の動物たち

[動画配信]

内容：当館所蔵の動物作品を、福岡市動物園の飼育員さんと当館学芸員と一緒に紹介する内容。「イタチ編」「トラ編」「ねはん図の動物たち編」の3つの動画を制作し、公開した。

日時：10月31日(土)にYouTubeで動画公開

視聴回数：348回

■つくろう! 羽ばたく色とり鳥

内容：さまざまな鳥が描かれた当館の《百鳥図》を鑑賞し、いろいろな素材をつかって羽ばたく鳥をつくるワークショップ。同内容で、美術館とオンラインで1回ずつ開催した。なお、オンラインでは、材料を事前に参加者へ郵送した。

講師：佐土嶋洋佳(アーティスト)

[美術館で開催]

日時：10月31日(土)10:30～11:30

対象：小学生以上(事前申込制)

参加者数：7人

[オンラインで開催]

日時：10月31日(土)13:30～14:30

対象：日本在住のこどもとその保護者(事前申込制)

参加者数：61人

■赤ちゃんと一緒に初めてのアート

[オンライン]

内容：Zoomを使って、小さなお子さんとその保護者と一緒に展示作品を鑑賞するプログラム。小さなお子さんと一緒に美術館を楽しむためのヒントや、設備なども紹介した。

日時：11月1日(日)①10:00～10:30 ②11:00～11:30

対象：2歳未満のこどもをその保護者(事前申込制)

参加者数：14人

■オンラインで行く

「アンティークどうぶつ園」[オンライン]

内容：開催中の展覧会「アンティークどうぶつ園」の作品を、Zoomを使いオンラインで楽しく鑑賞するオンラインツアー。

日時：11月3日(火・祝)①10:00～10:30 ②13:30～14:00

対象：小学生以上(事前申込制)

参加者数：10人

企画担当：崎田明香

バリアフリーギャラリーツアー

福岡市美術館では、教育普及活動方針として「アートと生きる」を掲げ、その具体的な活動として「アクセシビリティの向上」をうたっている。「多様な背景を持った人が集う場である美術館で、物理的のみならず心理的にもすべての人が安心して学び、過ごせるような空間づくりを目指す」という目的に従い、身体的な障がいをもった人たちもそうでない人々も、親しく、安心して、より日常的に、当館のコレクション展を楽しめるよう、新しくバリアフリーをうたったギャラリーツアーを実施することとなった。具体的には、視覚・聴覚・歩行に障がいを持つ人たちのために、コレクションのギャラリーガイドツアーを行った。

視覚障がい者のための おしゃべりとてざわりのツアー

目の見える人、見えない人が一緒になって作品鑑賞を実施。作品について話しあうだけでなく、朝倉文夫《墓守》に触れて鑑賞したり、《薬師如来坐像》の縮小レプリカをこのために制作し、触れてもらうなどした。

日時：令和2年8月29日(土)14:00～15:30

講師：石田陽介・濱田庄司・松尾さち(ギャラリーコンパ)

参加人数：10人



聴覚障がい者のための 目で聴くツアー

手話通訳者を介して、対話をしながら当館のコレクションを鑑賞した。また、手話が苦手な参加者には、当館職員が筆記にてサポートを行った。

日時：令和2年8月30日(日)14:00～15:30

参加人数：10人

協力：福岡市聴覚障がい者情報センター

車いす利用者のための みんなで車いすツアー

ファシリテーターを含め、普段車いすを利用している人もしていない人も一緒に車いすに乗り、当館コレクションを対話をしながら鑑賞した。

日時：令和2年9月26日(土)14:00～15:30

※令和2年9月6日(日)実施予定であったが、台風のため延期した。

定員：9人

印刷物：A4版チラシ(音声コード付き)、点訳チラシ(視覚障がい者のためのおしゃべりとてざわりのツアー情報のみ)

協力：(公財)福岡市文化芸術振興財団

企画担当：鬼本佳代子

第6回 いきヨウヨウ講座「自分色をつくる」

内容：社会的には超高齢社会に突入しており、シニア世代の文化活動をサポートする教育活動の必要性が以前にも増してきた。この講座は、65歳以上を対象とすることで、より幅広い層にアプローチし、美術・美術館の楽しさを伝えるとともに、シニア世代向けの美術教育活動の可能性を探るものである。昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止となってしまったが、企画していた内容をそのまま本年度実施した。内容は、「色」をテーマとし、コレクション展示室で「色」を中心に作品鑑賞した後、今日の自分の色を、顔料とアラビアコムを混ぜ合わせてつくってもらった。その絵具でポストカードにメッセージや絵を描いてもらい、後日、美術館より参加者宛に投函した。

日程：令和3年3月14日(日)

場所：アートスタジオ、コレクション展示室

講師：加藤隆之(福岡教育大学准教授)

参加人数：15人



企画担当：鬼本佳代子

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。令和2年度は下記大学の4人を受け入れた。実習期間は令和2年10月7日から11月30日のうちの5日間。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実習期間を変更し実施した。

■筑紫女学園大学	文学部	日本語・日本文学科	1人
■福岡大学	人文学部	歴史学科	1人
■西南学院大学	文学部	外国語学科英語専攻	1人
	経済学部	経済学科	1人

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも受け入れてコレクション展示の受付、監視等の体験学習を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

図書企画

■美術情報コーナー図書特集

美術情報コーナーの書棚の一部に当館開催の展覧会に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

1.コレクション展関連図書特集

コレクション展示室での各展示に関連する図書を特集した。

2.特別展関連図書特集

令和2年10月6日(火)～12月13日(日)「藤田嗣治と彼が愛した布たち」関連

令和2年12月19日(土)～令和3年2月7日(日)「ヒグチュウコ展 CIRCUS」関連

■夏休み子どもとしゃかんSNS版

夏休み子ども美術館2020「みるみるこわい絵の世界」に関連して、「こわい」をテーマに選書した図書を、SNS上で5日間にわたり1冊ずつ紹介した。

S N S：Facebook、Twitter、Instagram

期 間：令和2年8月13日(木)～17日(月)1冊ずつ紹介

紹介した図書：「んぐまーま」谷川俊太郎・文 大竹伸朗・絵 クレヨンハウス 2003年

「きゅーはくの絵本 5.化物絵巻 一ぞくぞく ぞぞぞー」九州国立博物館・企画・原案 フレーベル館 2007年

「おばけのマールとちいさなびじゅつかん」なかいれい・絵 けーたろう・文 中西出版 2008年

「まます すきです すてきです」谷川俊太郎・文 タイガー立石・絵 福音館書店 1991年

「クロードピアの秘密」E.L.カニグズバーグ・作 岩波書店 1975年

オンライン大作戦

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言下でも、利用者に美術に触れ、美術館を楽しんでもらおうと、SNSやブログ等を使い、作品紹介やワークショップ紹介などを行った。

ぬりえのダウンロード

媒体：ブログ タイトル：「福岡市美術館『ぬりえ』ダウンロードしませんか？」 公開日：令和2年3月11日(水)

媒体：ブログ タイトル：「オンライン大作戦GWスペシャル～ぬりえ再び」 公開日：令和2年4月29日(水)

アーティスト・オーギカナエによる工作動画制作・公開

媒体：YouTube タイトル：「森のたねのこうさく おすもうさんの追いかけっこ」 公開日：令和2年5月1日(金)

「GWこぼうしくんのお出かけ日誌」連載

媒体：Instagram タイトル：「GWこぼうしくんのお出かけ日誌」 連載期間：令和2年4月28日(木)～5月5日(火)

定期的なSNSおよびブログへの情報掲載

令和2年4月8日(水)～令和3年3月31日(水)

・Facebook・Twitter・Instagram 毎週土曜日情報更新 ・ブログ 毎週水曜日更新 ・YouTube 基本的に月1回程度更新

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新聞情報・図書整理・美術家情報整理のボランティア活動はそれぞれ月1回程度にして行った。また、ギャラリーガイドボランティアは、来館者へのツアーが中止となったため、勉強会などの活動を行った。

令和2年度の登録人数

ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理	計(人)
91	45	26	16	178

ギャラリーガイドボランティア

【活動内容】

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、コレクション展の展示作品から3作品を選び、対話型と解説型を織り交ぜたハイブリッド型で鑑賞活動を行っている。参加は無料。
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ギャラリーツアーは中止した。

■団体向けツアー

ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、団体向けツアーは中止。代わりにギャラリーガイドボランティア向けに勉強会を実施した。詳細は下記を参照のこと。

■スクールツアー

学校団体を対象にギャラリーツアーを行っている。詳細は「スクールツアー」の項目(p.21)を参照のこと。

■英語ツアー

毎月4回(火、木、金、土の各1回)コレクション展に展示されている作品から3点を選んで、英語で作品を紹介するツアー。参加は無料。事前予約制だが、当日空きがあれば参加可。
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、英語ツアーは中止した。

■新規ボランティア グループ研修

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため令和2年度に延期となった、新規ギャラリーガイドボランティアへのグループ研修第7回を実施した。
グループ研修参加新規ボランティア：60人(うち再応募13人)
第7回 令和2年7月28日(火)～11月15日(日)

■ギャラリーガイドボランティア勉強会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ギャラリーツアーが中止となった。そのため、活動の代替としてギャラリーガイドボランティア対象にコレクション作品についての勉強会を実施した。同じテーマで、それぞれ平日と土日の2回開催した。

第1回 令和2年8月5日(水)10:30～11:30／令和2年8月22日(土)14:00～15:00
第2回 令和2年9月8日(火)10:30～11:30／令和2年9月13日(日)14:00～15:00
第3回 令和2年10月8日(木)10:30～11:30／令和2年10月17日(土)14:00～15:00

第4回 令和2年11月15日(日)14:00～15:00／令和2年11月20日(金)14:00～15:00
第5回 令和3年1月26日(火)14:00～15:00／令和3年1月30日(土)10:30～11:30
第6回 令和3年2月25日(木)10:30～11:30／令和3年2月28日(日)10:30～11:30
第7回 令和3年3月17日(水)10:30～11:30／令和3年3月20日(土)10:30～11:30

新聞情報ボランティア

【活動内容】

日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。月に1回合同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。死亡記事の整理作業は、月末に各曜日グループ持ち回りで行う。新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、各曜日グループ持ち回りにより基本的に月1回のペースで作成する。

月曜日：毎日新聞
火曜日：読売新聞
水曜日：西日本新聞
木曜日：朝日新聞
土曜日：日経新聞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため令和2年2月27日(木)より活動を休止していたが、7月14日(火)より、各グループを分割して活動日・活動時間を制限した特別のシフトを組むなど感染症拡大防止対策を徹底した上で再開した。
再開にあたって、合同作業及び「おすすめ新聞美術記事」は当面休止とした。

図書整理ボランティア

【活動内容】

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

■作家資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。
古くなった資料保存用の袋を新しいものに作り替える。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。また、入力された情報が正しいかどうかチェックする。
所蔵している雑誌の情報をパソコンに入力する。

■新規受け入れ図書の点検・配架

新しく受け入れる図書の装備（登録番号、ラベル、蔵書印）を点検後、所定の位置に配架する。

■書架整理

配架している図書の場所を調整、移動、整理する。

■新規ボランティア グループ研修

新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度に延期となった、新規図書整理ボランティアへの取り扱う資料の整理方法等の研修を、下記の通り行った。

グループ研修参加新規ボランティア：9人

第3回 令和2年7月11日(土) 13:30～15:00

第4回 令和2年7月9日(木)、18日(土) 13:30～15:00

美術家情報整理ボランティア

【活動内容】

①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イベント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化している。令和3年3月26日現在で24,264件のデータを入力済み。

②データ入力済みのDMを整理し、作家名別、会場別に保管する。

【活動日】

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。月に1度、曜日間をまたいだ共同作業日を設けて活動。

■令和2年度 共同作業、顔合わせ

令和2年7月13日(月) 10:00～12:00

出版物

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
令和元年度 福岡市美術館活動の記録	A4	75	令和3年1月8日

■展覧会図録

名称	規格	頁数	発行日
ボストン美術館展 芸術×力	B5	236	—
藤田嗣治と彼が愛した布たち	B5	160	令和2年10月17日
ヒグチユウコ展 CIRCUS	B5変形	224	—
ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画	A5変形	144	令和3年1月5日
門田コレクション 中国陶磁4000年の旅	B5	88	令和3年2月2日

■コレクション展リーフレット(近現代)

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
作品リスト	コレクションハイライト	B5	4	近現代美術室A・C	令和2年4月28日
作品リスト	インカ・ショニバレCBE《桜を放つ女性》	B5	4	近現代美術室C	令和2年4月28日
作品リスト	平成元年の日本人像	B5	2	近現代美術室A	令和2年4月28日
作品リスト	新収蔵品展(近現代美術)	B5	2	近現代美術室B	令和3年4月28日
302	殿敷侃	B5	4	近現代美術室B	令和2年6月30日
303	抽象と具象のあいだ ―甲斐巳八郎を中心に	B5	4	近現代美術室A	令和2年9月1日
304	菊畑茂久馬：「絵画」の世界	B5	4	近現代美術室B	令和2年9月1日
作品リスト	藤田嗣治と関わった画家たち	B5	2	近現代美術室A	令和2年10月27日
305	纏うわたし、見るわたし ―やなぎみわとリサ・ミルロイ	B5	4	近現代美術室B	令和3年1月5日
作品リスト	モダン・フォトグラフィーⅠ：ヨーロッパ	B5	4	近現代美術室A	令和3年1月5日
作品リスト	モダン・フォトグラフィーⅡ：日本	B5	2	近現代美術室A	令和3年2月16日

■コレクション展リーフレット(古美術)

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
田中丸コレクション 解説第7号	田中丸コレクション展 うつわ歳時記	B5	4	古美術企画展示室	令和2年4月14日
作品リスト	新収蔵品展(古美術)	B5	2	古美術企画展示室	令和2年4月14日
作品リスト	春の名品展	B5	2	松永記念館室	令和2年4月14日
230	芸術とパトロン	B5	4	古美術企画展示室	令和2年6月17日
作品リスト	仙厓展―仙厓に魅せられた人々―	B5	2	古美術企画展示室	令和2年6月17日
作品リスト	コプト裂と古代オリエント文物	B5	2	松永記念館室	令和2年6月17日
作品リスト	東光院のみほとけD	B5	2	東光院仏教美術室	令和2年7月21日
231	仙厓展 仙厓ブームをたどる	B5	4	古美術企画展示室	令和2年9月1日
作品リスト	アンティークどうぶつ園	B5	2	古美術企画展示室	令和2年9月1日
作品リスト	秋の名品展	B5	2	松永記念館室	令和2年9月1日

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
232	風を視る	B5	4	古美術企画展示室	令和2年11月17日
作品リスト	インド更紗からアフリカン・プリントへ	B5	2	古美術企画展示室	令和2年11月17日
233	茶道具としての仏教美術	B5	4	松永記念館室	令和2年11月17日
作品リスト	東光院のみほとけE	B5	2	東光院仏教美術室	令和2年11月29日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第9号	A4	74	令和3年3月19日

■福岡市美術館 季刊誌 エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
199	新たな“仲間”を紹介します!／見てから読むか、読んでから見るか インカ・ショニバレCBE《桜を放つ女性》[正路佐知子]／ミドコロドコ? 新収蔵品展[宮田太樹、渡抜由季]／ミドコロドコ? リサ・ミルロイからの贈物[岩永悦子]／学芸員と、みてはなし。 ルイ＝ジョゼフ＝ラファエル・コラン《海辺にて》[渡抜由季]／ボランティア研修レポート／広告／LECTURE つきなみ講座／FEATURE 福岡ミュージアムウィーク2020／CALENDAR／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／利用案内	B5 変形	12	令和2年4月1日
200	大解剖!美術館の舞台裏／見てから読むか、読んでから見るか 甲斐巳八郎《題不詳(クチイ)》[忠あゆみ]／ミドコロドコ?番外編 展示の舞台裏をのぞいてみる[山口洋三]／修復現場の舞台裏 《風神像》[宮田太樹] 河津嘉三《らんぷのある静物A》[渡抜由季]／学芸員の「早く見せたい!」《青磁子抱人形》[後藤恒]／森のたねのこうさく おすすめさんの追いかけっこ／エスプラナード200号記念エッセイ わが青春のエスプラナード[中山喜一朗]／広告／LECTURE つきなみ講座／FEATURE 夏休みこども美術館2020／CALENDAR／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／利用案内	B5 変形	12	令和2年7月1日
201	主役は布!? [岩永悦子]／見てから読むか、読んでから見るか 《薬師如来坐像》[宮田太樹]／ミドコロドコ? 藤田嗣治と彼が愛した布たち[岩永悦子]／ミドコロドコ? 菊畑茂久馬:「絵画」の世界[山口洋三]／学芸員と、みてはなし 《黒楽茶碗 銘「次郎坊」》[後藤恒]／夏休みこども美術館2020レポート[上野真歩]／広告／LECTURE つきなみ講座／FEATURE ファミリーDAY2020／CALENDAR／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／わたくすclub／利用案内	B5 変形	12	令和2年10月1日
202	幻の前衛美術集団、ふたたび。[忠あゆみ]／見てから読むか、読んでから見るか 《クリシュナ物語図更紗壁掛》[岩永悦子]／ミドコロドコ? 門田コレクション[後藤恒]／ミドコロドコ? KYNE《Untitled》／ミドコロドコ? ヒグチユウコ展CIRCUS／学芸員と、みてはなし。 伝・辺文進《百鳥図》[崎田明香]／ファミリーDAY2020レポート[崎田明香]／広告／LECTURE つきなみ講座／FEATURE 第6回 いきヨウヨウ講座／CALENDAR／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／わたくすclub／利用案内	B5 変形	12	令和3年1月1日

三館連携・協力企画

福岡市ミュージアム・シニア・プログラム

当館と福岡市博物館、福岡アジア美術館、西日本新聞イベントサービスとで実行委員会を組み、各館の所蔵資料を使って、認知症患者のための回想法をオンラインで実施した。本事業は、文化庁の「文化芸術収益力強化事業」の委託を受託した乃村工藝社の「博物館等における『新しい関係性の構築』による収益確保・強化事業」A.歴史博物館・自然史博物館・美術館における認知症対応プログラムへの公募委託を受けて実施した。

【プログラム内容・実施日・場所・参加者等】

事前研修「認知症対応マナー研修」

認知症への対応に向け、ファシリテーターとなる美術館・博物館の学芸員・職員のために「認知症マナー研修」をオンラインにて実施。

実施日：令和3年2月1日(月)10：30～12：00

会 場：福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

講 師：滝田 祐一（(株)ミライロ）

受講者：福岡市美術館職員7人、福岡市博物館職員9人、福岡アジア美術館職員11人 計27人

プログラム1回目「オリエンテーション」

回想法プログラム開始。認知症当事者である参加者にヒアリングを行う。以下すべてオンラインにて実施。

実施日：令和3年2月2日(火)10：30～12：00

場 所：森の家 みのり荘、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

ファシリテーター：鬼本佳代子、石井 和帆、河口 綾香、蒲池 昌江、山木 裕子

参加者：3人

介助者：田中史王（森の家 みのり荘）

プログラム2回目「思い出の歌は何？」

福岡市博物館所蔵の音楽音源および福岡の昔の写真を施設に送り、参加者に、その音源を聞いたり、歌ったり、また写真を見てもらったりしながら、思い出話を語ってもらった。

実施日：令和3年2月9日(火)10：30～12：00

場 所：森の家 みのり荘、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

ファシリテーター：帆足 有紀・三角 徳子（福岡市博物館）、石井 和帆、河口 綾香

参加者：3人

介助者：田中史王（森の家 みのり荘）

プログラム3回目「家族の思い出」

福岡アジア美術館の所蔵作品のうち、家族をテーマにした図版を使い、その図版を参加者に見せながら家族の思い出を語ってもらった。その後家族の思い出について絵を描いてもらった。

実施日：令和3年2月16日(火)10：30～12：00

場 所：森の家 みのり荘、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

ファシリテーター：蒲池 昌江、山木 裕子

参加者：3人

介助者：田中史王（森の家 みのり荘）

プログラム4回目「思い出のサクラ」

福岡市美術館の所蔵作品である富田溪仙《御室の桜》のレプリカを施設に届け、鑑賞しながら桜についての思い出を語ってもらった。また、桜の木片も送付し、それを触ってもらうなどした。さらにその後、思い出の桜の絵を描いてもらった。

実施日：令和3年2月23日(火)10：30～12：00 13：30～14：00

場 所：森の家 みのり荘、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

ファシリテーター：鬼本佳代子、上野 真歩・中原千代子（福岡市美術館）

参加者：3人

介助者：田中史王（森の家 みのり荘）

プログラム5回目「振り返り」

第2回目～4回目までの振り返りを行い、参加者にどのような変化があったかを確認した。

実施日：令和3年2月25日(木) 10：30～12：00

場 所：森の家 みのり荘、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館

ファシリテーター：鬼本佳代子、石井 和帆、河口 綾香、蒲池 昌江、山木 裕子

参加者：3人

介助者：田中史王(森の家 みのり荘)

【プログラム評価者】

奥村 俊久(筑紫野市教育委員会)、古村 美津代(久留米大学医学部看護学科教授)

【主 催】

福岡市ミュージアム・シニア・プログラム実行委員会(福岡市美術館・福岡市博物館・福岡アジア美術館・西日本新聞イベントサービス)

【協 力】

福岡市保健福祉局高齢社会部認知症支援課、小規模多機能ホーム・森の家 みのり荘

【企画担当】

鬼本佳代子

石井 和帆・河口 綾香(福岡市博物館)

蒲池 昌江・山木 裕子(福岡アジア美術館)



その他の連携企画

カラダだから・だからカラダ2020

内 容：障がいのある人もない人も一緒にダンスを創作し、踊るダンスワークショップ。このワークショップでは、当館の作品をもとにしてダンスを創作し、アートスタジオで踊る様子を、オンラインおよびミュージアムホールにてライブ配信。当館は共催者として会場提供、および学芸員によるギャラリートークを行った。

日 時：令和2年10月10日(土) 11：00～16：00 10月11日(日) 13：00～15：45

場 所：アートスタジオ、ミュージアムホール

主 催：一般社団法人パラカダンス

参加人数：のべ56人

協力事業

2021年九州産業大学国際シンポジウム

博物館医療・福祉のよりよい関係～日本・英国・米国つなぐオンライン開催～

内 容：九州産業大学の緒方泉教授が委員長を務め、九州産業大学美術館が主体となって行っている博物館と高齢福祉の関係づくりについての研究・実践に参加・協力。標記国際シンポジウムにおいては、当館の高齢者プログラムについて事例報告を行った。

日 時：令和3年2月13日(土)、2月20日(土) 20:00～22:30

開催手法：オンライン

参加人数：70人

主 催：「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会
(代表：九州産業大学美術館)

紀要の発行

令和2年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第9号」を発行した。

内容は以下の通りである。

題 目	執筆者
サルバドール・ダリ《ボルト・リガトの聖母》に隠された構図の謎	渡 抜 由季
福岡市美術館所蔵 狩野探幽《獺図》再考	錦 織 亮介
福岡市美術館における高齢者対象プログラムについて ～内容・意義・課題～	鬼 本 佳代子
美術館とフェミニズム ―福岡市美術館の現状について	正 路 佐知子
酒井抱一旧蔵 伝・源実朝筆《日課観音図》をめぐって	岩 永 悦子
『雲中庵茶会記』翻刻稿 ⑤	後 藤 恒

美術資料

令和2年度は近現代美術作品22点、古美術作品4件を収集した。

近現代美術

所蔵品番号順

寄贈(21点)

No	種別	所蔵番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	備品受入番号
1	油彩画	1-A-727	上田 千年	赤い天使	2004	油彩・紙・板	162.0×130.8	50203435
2	油彩画	1-A-728	藤永 郁子	菜	2005	油彩・画布	162.1×162.2	50203436
3	油彩画	1-A-729	小林 孝夫	浜辺の詩・番	2006	油彩・画布	162.3×162.3	50203437
4	油彩画	1-A-730	木寺 渉	荒草の詩	2006	油彩・画布	162.3×162.3	50203438
5	油彩画	1-A-731	赤星 信子	花咲く庭	1955	油彩・画布	99.5×80.3	50203429
6	油彩画	1-A-732	赤星 信子	青の階調	1986	油彩・画布	162.0×193.5	50203430
7	油彩画	1-A-733	森山 安英	レンズの彼岸13	1999	油彩・樹脂・画布	130.3×162.0	50203432
8	油彩画	1-A-734	森山 安英	レンズの彼岸14	1999	油彩・樹脂・画布	130.5×162.2	50203433
9	油彩画	1-A-735	森山 安英	レンズの彼岸15	1999	油彩・樹脂・画布	130.3×162.0	50203434
10	油彩画	1-A-736	原 信之	萤火	1987	油彩・板	227.0×182.0	50203439
11	版画	1-E-1057	山崎 直秀	DRAWING-TREE 1	1984	シルクスクリーン・紙	89.1×69.4	50203440
12	版画	1-E-1058	山崎 直秀	DRAWING-NEWSPAPER 1003	1984	シルクスクリーン・紙	51.1×71.9	50203441
13	版画	1-E-1059	山崎 直秀	DRAWING-LANDSCAPE1001	1985	シルクスクリーン・紙	51.1×72.0	50203443
14	版画	1-E-1060	山崎 直秀	DRAWING-LANDSCAPE1003	1985	シルクスクリーン・紙	51.1×71.9	50203442
15	版画	1-E-1061	山崎 直秀	DRAWING-LANDSCAPE1005	1985	シルクスクリーン・紙	51.5×74.0	50203444
16	版画	1-E-1062	山崎 直秀	DRAWING-PHOTOGRAPHY8703	1987	シルクスクリーン・紙	51.6×72.0	50203445
17	版画	1-E-1063	山崎 直秀	DRAWING-PHOTOGRAPHY8712	1987	シルクスクリーン・紙	56.1×80.0	50203446
18	版画	1-E-1064	山崎 直秀	DRAWING-PHOTOGRAPHY8905	1989	シルクスクリーン・紙	56.1×80.0	50203447
19	版画	1-E-1065	山崎 直秀	DRAWING-PHOTOGRAPHY9001	1990	シルクスクリーン・紙	64.2×92.1	50203448
20	版画	1-E-1066	山崎 直秀	DRAWING-PHOTOGRAPHY9016	1990	シルクスクリーン・紙	64.1×92.0	50203449
21	写真	2-F-460	岡上 淑子	天使の巣	不詳(1952)	ゼラチンシルバープリント	16×10.7	50203431

購入(1件)

No	種別	所蔵番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	備品受入番号
1	彫刻	3-G-83	インカ・ショニバレCBE	ウインド・スカulptチャー(SG)Ⅱ	2021	ガラス強化ポリエステル樹脂、アクリル塗料、銅	700×250×200	50203501

古美術

所蔵品番号順、研究資料は末尾に記載

購入(2件)

No	種別	所蔵番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	備品受入番号
1	絵画	14-B-74	仙厓義梵	海老図	江戸時代	紙本墨画	縦37.5 横48.0	50201653

No	種別	所蔵番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	備品受入番号
2	染織	14-Hd-411	フランス	ジュイ布(《恋の技法》あるいは《偷しいレッスン》第5版) ベッドスカート	18世紀	木綿	縦79.0 横202.0	50203170

寄贈(2件)

No	種別	所蔵番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	備品受入番号
1	絵画	14-B-77	蓬萊山人帰橋	左羅紗便覧	安永7年(1778)	紙本木版	縦26.1 横17.3	50203185
2	染織	14-Hd-412	布地：ヨーロッパ 仕立：日本	小花文様木版更紗間着	布地：19世紀 仕立：19~20世紀	木綿	身丈149.3 桁68.8	50203186

西日本シティ銀行寄託作品リスト

外国作家はアルファベット順
日本作家は五十音順

No	種別	作者名	作品名	制作年	素材	寸法(cm)
1	彫刻	マغدレーナ・アバカノヴィッチ	台形の上の両性具有(白)	1988	ブロンズ	116.8×158.8×80.3
2	油彩等	ビエール・アレシンスキー	I Do Not Know	1958	油彩・画布	129.8×195.2
3	油彩等	カレル・アペル	Animals over the Village	1953	油彩・画布	109.3×141.0
4	彫刻	アレクサンダー・アーキベンコ	Ma Meditation	1937	ブロンズ	131.5×107.2×33.7
5	油彩等	ハンス・ベルメール	Les Bas Noirs	1962	油彩・画布	64.8×65.4
6	彫刻	アンソニー・カロ	カデンツァ	1970	銅	109.7×116.5×107.0
7	油彩等	クリスト	ランニング・フェンス、カリフォルニア州ソノマ郡とマリン群のプロジェクト	1976	鉛筆、木炭、地図、紙	107.9×244.2, 39.4×244.7,71.7×99.8 (2点組+写真)
8	油彩等	クリスト	Wrapped Chair	1966	ミクストメディア、コラージュ	70.0×55.0
9	彫刻	ジョセフ・コーネル	Untitled	1933	ミクストメディア	15.6×13.1×2.3
10	油彩等	リチャード・エステス	Bus Reflections	1972	油彩・画布	101.0×132.2
11	水彩	ジョージ・グロス	Daddy and Mommy	1922	水彩・紙	52.5×41.4
12	油彩等	フライデンサーチ・フンデルトヴァッサー	雨は太陽より強し	1955	エッグテンペラ・画布	100.0×125.0
13	油彩等	アスガー・ヨルン	Le Moment Choisit	1971	油彩・画布	150.6×195.2
14	油彩等	リチャード・リンドナー	NO!!	1966	油彩・画布	183.4×152.9
15	油彩等	ロベルト・マッタ	オルガスムの閾値	1960	油彩・画布	204×298
16	彫刻	ヘンリー・ムーア	ふたつのかたちによる横たわる人体 No.2	1960	ブロンズ	137.5×280.0×137.5
17	油彩等	エリザベス・マーレイ	かろうじて触れる	1989	アクリル・画布	161.0×228.5×44.1
18	彫刻	ルイーズ・ニーヴェルズン	熱帯降雨林の柱 VIII	1959	木・金属・塗料	274.0×33.0×33.0
19	版画	ジャクソン・ポロック	無題	1951 (後刷り、1964年)	シルクスクリーン・紙	41.0×55.0
20	油彩等	ラリー・リバース	Golden Oldies 50s	1978	油彩他・画布	269×365
21	油彩等	ヴィクトール・ヴァザレリ	Pluton-VG	1973	油彩・画布	139.5×139.6
22	油彩等	ジャック・ヴィヨン	ノルマンディーの鳩小屋	1953	油彩・画布	97.2×146.1
23	油彩等	辰野 登恵子	Untitled 97-3	1997	油彩・画布	194.3×162.2
24	彫刻	豊福 知徳	漂流'60 Ⅱ	1960	木	174.5×293.0×66.0
25	油彩等	野見山 暁治	穹	1983	油彩・画布	195.5×245.1
26	油彩等	野見山 暁治	説話	1993	油彩・画布	182.0×227.5
27	彫刻	舟越 桂	風のある部屋	1992	楠に彩色、ブリキ、大理石	111.5×50.5×27.0
28	油彩等	間部 学	カーニバルのあと	1972	アクリル、油彩・画布	98.9×124.7

図書・映像資料

図書

単位(冊)			
		和書	洋書
購入	図書	51	17
	図録	2	8
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	55	5
	図録	449	36
	年報・紀要	258	0
製本資料		0	0
雑誌		259	64
合計		1,074	130
総計		1,204	

映像資料

単位(点)		
購入	CD	0
	DVD	0
寄贈	CD	0
	DVD	0
合計		0

修復

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
陶磁	25-Ha-6	中国	緑釉倉	高47.0 幅41.0 奥行23.5	漢時代 1-3世紀	陶製	1基
陶磁	25-Ha-10	中国	緑釉耳杯	高3.2 長10.2	漢時代 1-3世紀	陶製	1口
陶磁	25-Ha-43	中国	三彩蓋付丸壺	高6.2 胴径8.9 底径3.3	唐時代 8世紀	陶製	1口
陶磁	25-Ha-45	中国	三彩杯	高3.3 口径5.0 高台径2.7	唐時代 8世紀	陶製	1口
陶磁	25-Ha-46	中国	三彩杯	高3.2 口径6.0 高台径2.7	唐時代 8世紀	陶製	1口
陶磁	25-Ha-48	中国	三彩花文陶枕	高5.1 幅11.0 奥行8.7	唐時代 8世紀	陶製	1基

貸出

近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
日本画	富田 溪仙	沖縄三題	1-B-65	京都市京セラ美術館開館記念展「京都市京セラ美術館開館記念展「京都の美術250年の夢 第1部～第3部総集編 ―江戸から現代へ―」	京都市京セラ美術館	令和2年10月10日～12月6日
日本画	富田 溪仙	沖縄三題	1-B-158			
油彩等	吉田 博	溪流	1-A-218	没後70年 吉田博展	福岡県立美術館	令和2年10月16日～12月22日
水彩	吉田 博	雨後の穂高山	1-E-112		東京都美術館	令和3年1月5日～3月28日
日本画	吉村 忠夫	和光薫風	1-B-195	天平礼賛	大阪市立美術館	令和2年10月27日～12月13日
油彩等	高島 野十郎	早春池畔	1-A-280	生誕130年記念高島野十郎展	久留米市美術館	令和3年1月20日～3月28日
油彩等	吉田 博	雲叡深秋	1-A-464	自然の秘密をさぐる	下関市立美術館	令和3年1月30日～3月14日
版画	吉田 博	(米国之部)エル キャプタン	1-E-37			
版画	吉田 博	日本アルプス十二題 剱山の朝	1-E-53			

古美術

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	仙厓義梵	円相図	9-B-9	「時空を超える日本のアートー古典×現代二〇二〇」展	国立新美術館企画展示室2E	令和2年6月24日(水)～8月24日(月)
絵画	仙厓義梵	円相図	12-B-11			
書跡	千利休	禁中御茶会記	6-I-16	壱岐市立一支国博物館第50回記念展「松永安左工門生誕の地・壱岐～耳庵展～」	一支国博物館	令和2年7月17日(金)～9月13日(日)
絵画	宮本武蔵	布袋見闘鶏図	6-B-29			
其他	千宗旦	宗旦竹一重切花入 銘「普化」	6-Hf-91			
陶磁	野々村仁清	色絵吉野山図茶壺	6-Ha-50			
陶磁		建藎天目茶碗	6-Ha-69			
陶磁		志野筒茶碗 銘「露香」	6-Ha-65			
陶磁		粉吹茶碗 銘「十石」	6-Ha-56			
金工		芦屋浜松舟地文釜	6-Hc-102			
陶磁		備前矢筈口水指 共蓋付	6-Ha-94			

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
陶磁		織部角切透鉢	6-Ha-48	吉岐市立一支国博物館 第50回記念展「松永安左工門生誕の地・吉岐～耳庵展～」	一支国博物館	令和2年7月17日(金)～9月13日(日)
陶磁	上野焼 釜ノ口窯	上野割山楸形向付	6-Ha-110			
陶磁		影青刻花文鉢	6-Ha-137			
金工		竊曲文蓋	6-Hc-119			
絵画	伝・尾形光琳	金銀泥梅花図	6-B-35			
絵画	伝・俵屋宗達	雌鶏図	6-B-33			
陶磁	尾形乾山	檜梅香合	6-Ha-86			
陶磁		唐物文琳茶入 銘「春駒」	6-Ha-53			
陶磁		古雲鶴筒茶碗	6-Ha-63			
金工		仏像毛彫鉢	6-Hc-9			
其他	尾形乾山	茶杓 共筒	6-Hf-77			
絵画	伝・俵屋宗達	雄鶏図	6-B-32			
陶磁		唐物肩衝茶入 銘「松永」	6-Ha-51	NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」	岐阜市歴史博物館	令和2年9月18日(金)～11月3日(火・祝)
絵画	田能村竹田	高士喫茶図	11-B-7	企画展「コレクト×コネクトー中津の作家にみる美の系譜」	中津市歴史博物館	令和2年9月26日(土)～11月10日(火)
絵画	円山応挙	花鳥図	7-B-125			
絵画	谷文晁	蘭亭曲水図	7-B-114			
絵画	狩野伊織	源氏物語絵屏風	5-B-9	福岡市博物館開館30周年記念展「ふくおかの名宝一城と人とまちー」	福岡市博物館 特別展示室A・B	令和2年10月10日(土)～11月29日(日)
絵画	仙厓義梵	博多図並賛	5-B-11			
書跡	清拙正澄	清拙正澄墨蹟(与元中別称偈)	6-I-6			
絵画		不動明王図	4-B-4			
絵画	雪舟	寿老図	4-B-5			
絵画	春屋宗園賛	如水居士像	4-B-43			
絵画	伝・貫休筆、春屋宗園賛	釈迦像	4-B-2			
絵画	狩野安信	竹虎図	4-B-14			
書跡	観世暮閑	謡本	4-I-34			
陶磁		唐物茶入 銘「博多文琳」	4-Ha-3			
其他		法螺貝(北条白貝)	4-Hf-172			
其他		琵琶 銘「青山」	4-Hf-20			
漆工		羊齒枇杷葉紋蒔絵箱(琵琶「青山」箱)	4-Hb-20-2			
絵画	狩野探幽筆、沢庵宗彭賛	宗英公(忠之)像	4-B-48	特別展「名刀「博多藤四郎」の輝き」	北九州市立自然史・歴史博物館	令和3年1月2日(土)～2月14日(日)
漆工		竹長春花文蒔絵筆筒(源氏物語入)	4-Hb-25			

広報事業

ホームページとSNSの運用

美術館の概要や展示、イベント等をホームページで紹介するほか、SNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラム)を活用した情報発信を積極的に行った。

○福岡市美術館ホームページ <https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

○福岡市美術館ツイッター https://twitter.com/fukuoka_fam

○福岡市美術館フェイスブック<https://www.facebook.com/fukuokaartmuseum/>

令和2年度ホームページ閲覧数、SNSフォロワー数

ホームページ閲覧数	ツイッター フォロワー数	フェイスブック フォロワー数	インスタグラム フォロワー数
1,575,991	6,584人	5,275人	6,141人

プレスリリースなどによる広報

テレビ、新聞、美術出版社、タウン情報誌等の各種メディアに対してプレスリリースを配信。観覧者誘致に向けた取り組みを行う。

各種メディアへの情報提供延べ件数／8,529件

イベントの実施

緑溢れる大濠公園に位置する当館の魅力を最大限に活用し、多くの市民や観光客が楽しめるミュージアムイベントを年間を通じて実施し、美術以外の入口からも美術館を訪れる人々の賑わいを創出。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、コンサートを始め、落語会や映画会などの催しを実施した。

実施事業		実施日	会場	参加人数
FAMシネマテークvol.01 真夏のカルトホラー合戦	映画会	令和2年8月7日(金)～9日(日)	ミュージアムホール	延べ7回上映計129人
FAMシネマテークvol.02 フレデリック・ワイズマン監督特集	映画会	令和2年9月19日(土)～20日(日)	ミュージアムホール	延べ4回上映計61人
ソーゾーシー-JAPAN TOUR 2020in福岡	落語会	令和2年10月4日(日)	ミュージアムホール	82人
FAMシネマテークvol.03 宮崎大祐監督特集	映画会	令和2年10月23日(土)～24日(日)	ミュージアムホール	延べ5回上映計46人
国分弘子のPiano Party	コンサート	令和2年11月3日(火・祝) 1st 14:00～15:00	ミュージアムホール	174人
		令和2年11月3日(火・祝) 2nd 16:30～17:30		162人
福岡県立城南高等学校 和太鼓部 燃える、魅せる 和太鼓の妙技	演舞	令和2年11月3日(火・祝) 1st 11:00～11:30	アブローチ広場	約400人
		令和2年11月3日(火・祝) 2nd 12:30～13:00		約400人
桂春蝶独演会「行と業」	落語会	令和2年11月21日(土)	ミュージアムホール	46人
		令和2年11月22日(日)		90人
FAMシネマテークvol.04 台湾映画特集	映画会	令和2年11月23日(月・祝)	ミュージアムホール	延べ5回上映計109人
九州交響楽団メンバーによる 弦楽四重奏コンサート	コンサート	令和2年12月12日(土)	ミュージアムホール	77人
FAMシネマテークvol.05 空族最新作 典座TENZO	映画会	令和2年12月26日(土)	ミュージアムホール	延べ4回上映計60人
FAMシネマテークvol.06 映画『VIDEOPHOBIA』	映画会	令和3年1月10日(日)～11日(月・祝)	ミュージアムホール	延べ6回上映計46人

FAMシネマテークvol.06 映画『VIDEOPHOBIA』	映画会	令和3年3月13日(土)	ミュージアムホール	21人
FAMシネマテークvol.07 映画『誰がための日々』『淪落の人』	映画会	令和3年3月27日(土)	ミュージアムホール	延べ4回上映計40人

ユニークベニユーの受け入れ

ユニークベニユーとして、次世代のデザイナー発掘及び人材育成を目的に立ち上げられたプロジェクト「FUKUOKA ASIA DESIGNERS SHOW2020」を美術館ロビーで行った。

実施日：令和2年11月20日(金)

主な使用場所：ロビー、ミュージアムホール

カフェ・レストラン

1階と2階には、ホテルニューオータニ博多が運営するカフェ「アクアム」と、レストラン「プルヌス」があり、特別展開催期間中は、特別展コラボメニューの提供も行っている。

カフェ「アクアム」

アブローチ広場横にあるガラス張りのカフェでは、きらめく水面を眺めながら軽食やドリンクを楽しむ。朝食にぴったりのパンやコーヒー、サンドウィッチ等のランチメニュー、ケーキやソフトクリーム、アルコールやオードブルを取りそろえ、時間帯や目的によってお好みのアイテムを選択できる。

営業時間／9：00～19：00(ラストオーダー18：30)
※7月～10月の金・土曜日は9：00～20：00
(ラストオーダー19：30)

席数／58席



レストラン「プルヌス」

当館で最も眺めのいい位置にあるレストランでは、大濠公園やエスプラナードを一望できる。地元食材を使った料理を中心に、和食・洋食のランチ、夕日や夜景とともに味わうワイン、週末限定のランチ等多彩なメニューを提供。また、展覧会とのコラボレーションメニューも実施している。

営業時間／平 日 11：00～20：30(ラストオーダー19：30)
土・日・祝 9：30～20：30(ラストオーダー19：30)

席数／84席



ミュージアムショップ

1階エントランスロビーにあるミュージアムショップでは、当館の所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズやレプリカをはじめ、展覧会図録、地元クリエイターによるグッズ、高取焼や博多織、博多人形などの伝統工芸品などを販売。福岡を訪れた記念や贈り物におすすめの商品も取りそろえる。

営業時間／9：30～17：30
※7月～10月の金・土曜日は9：30～20：00

オリジナル商品

博多人形工房の中村人形が制作・監修した気軽に人形の絵付け体験が楽しめる素焼きの博多人形《MASTER ROAD》、博多人形師の小副川太郎氏監修の福岡市美術館所蔵品モチーフの福かぶり猫《仙厓の虎図・フジタの猫》の他、当館のマスコットで開館以来、着実にファンを増やしている《こぶしくん》グッズなどを取り扱う。

認定商品/101点、35品目(令和2年3月末)



展示室

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水・祝	木
特別展示室	第51回(令和元年度) 福岡市美術展 洋画の入賞作品を展示 観覧者数：370人			—				—									—									—					
ギャラリーA				—				—									—									—					
ギャラリーB				—				—									—									—					
ギャラリーC	第51回 (令和元年度) 福岡市美術展			—				—									—									—					
ギャラリーD	彫刻、工芸の 入賞作品を展示 観覧者数：114人			—				—									—									—					
ギャラリーE				—				—									—									—					
ギャラリーF				—				—									—									—					

5月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	曜	金	土	日	月・祝	火・祝	水・祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
特別展示室				—						—					—								—							—				
ギャラリーA				—						—					—								—							—				
ギャラリーB				—						—					—								—							—				
ギャラリーC				—						—					—								—							—				
ギャラリーD				—						—					—							下尾幸生 陶展 彫刻、木彫、陶器、茶碗、 花生け、酒器、茶しゃくを展示 観覧者数：100人							十年来展 アクリル画、水彩画、 半立体作品を展示 観覧者数：129人					
ギャラリーE				—						—					—								—							—				
ギャラリーF				—						—					—								—							—				

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
特別展示室					—							—							—							—						
ギャラリーA					—							—							—						In the name of resurrection 油絵、モノタイプ、MIXED MEDIA50点を展示 観覧者数：243人							
ギャラリーB					—							ARS写真教室作品展 写真約80点を展示 観覧者数：328人							—						—							
ギャラリーC					—														—							—						
ギャラリーD					—									—						—							—					
ギャラリーE					—									ジュエリーのこれから 宝飾品、アクセサリー、雑貨、 デザイン画約300点を展示 観覧者数：546人						—						—						
ギャラリーF					—							—							—							—						

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	金	祝	土	日	月	火	水	木	金
特別展示室				—						—							—		ポストン 美術館 展			第70回モダンアート・ 福岡 観覧者数：1,230人							ポストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止					
ギャラリーA				—						—							—					—							桑樹書展 書約40点を展示 観覧者数：164人					
ギャラリーB				—						—							—					—							—					
ギャラリーC				—						—							—					—							—					
ギャラリーD				—						—							—					—							—					
ギャラリーE				—						—							—					福岡県独立書人団書展 書作品約30点を展示 観覧者数：322人							—					
ギャラリーF				—						—							—					—							—					

8月

[illegible]

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	祝	水	木	金	土	日	月	火	水		
特別展示室	ボストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止							ボストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止						ボストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止						ボストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止						ボストン美術館展									
ギャラリーA	大濠・舞鶴公園 自然等写真展 写真約110点を展示 観覧者数：363人							新作能面展 能面を展示 観覧者数：267人						—						—						—									
ギャラリーB	畑俊一 裸婦クロッキー展 コンテによる 裸婦クロッキー作品 130点を展示 観覧者数：278人							景柳会書道作品展 書道、ペンアート、写経など 約100点を展示 観覧者数：548人						—						武蔵野美術大学 校友会 福岡支部展 日本画、水彩画、 版画、油絵、陶器、 彫刻、金工など 約50点を展示 観覧者数：337人						—									
ギャラリーC	—													—												—					—				
ギャラリーD														—												—					—				
ギャラリーE	穴窯作陶展 信楽焼を中心に徳利、くい呑、茶碗、 水指、花入れなど70点を展示 観覧者数：301人							第6回 野口正幸絵画教室 生徒作品展 油彩、水彩、アクリル、パステル約100点を展示 観覧者数：353人						—						—						一凛の会 書道展 観覧者数： 94人									
ギャラリーF	リベラル展 ヌードデッサン、油絵、 アクリル画など60点を展示 観覧者数：351人													第21回 新作能面展 能面約50面を展示 観覧者数：459人						第21回 さくら会 水彩画展 水彩画を展示 観覧者数：305人						佐伯子展 観覧者数： 125人									

※9月6日は台風10号の接近により臨時休館

10月

室名	日 曜	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土			
特別展示室		ボストン美術館展 芸術×力 (7/18-10/4) ※中止							—					—				藤田展				藤田嗣治と 彼が愛した布たち (10/17-12/13)						藤田嗣治と 彼が愛した布たち (10/17-12/13)							
ギャラリーA		—							第11回 ひと葉の会日本画展 岩絵具、金箔、砂子、雲肌麻紙など を使った日本画約45点を展示 観覧者数：640人					木曜会作品展 全紙サイズの単写真 約40点を展示 観覧者数：840人							藤田嗣治と 彼が愛した布たち (10/17-12/13)						—								
ギャラリーB		—							—					第50回 福岡市高齢者 美術展 洋画、日本画、書、写真、 工芸を展示 観覧者数：853人							第25回 福岡市美術連盟展 日本画、絵画、彫刻、工芸、 写真、グラフィックデザイン 約190点を展示 観覧者数：1,093人						N 548展 2020 平面作品を主に、 油彩、水彩画、版画、 ミクストメディアなど 約55点を展示 観覧者数：487人								
ギャラリーC		—							第21回 絵画造形教室作品展 水彩画、立体造形、切り絵、ランプ シェードなど約200点を展示 観覧者数：585人																										
ギャラリーD		—							—																										
ギャラリーE		一凜の会 書道展 書道作品 約50点を展示 観覧者数：338人							第39回福岡きりえ展 きりえ約50点を展示 観覧者数：867人					日本画(歩々の会) 日本画約30点を展示 観覧者数：596人																					
ギャラリーF		佐伯和子の絵画& オリジナルジュエリー展 洋装品、オリジナルジュエリー15点を展示 観覧者数：255人							—					ゆう美会作品展 写真、手工芸、絵画、水墨画、書、掛軸、 能面、魚拓、陶芸、人形などを展示 観覧者数：736人																	田中愛己 個展・田中孝林 個展 絵画、印鉋、篆刻、書、 陶器約160点を展示 観覧者数：668人				

11月

[illegible]

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
特別展示室	藤田嗣治と 彼が愛した布たち (10/17-12/13)								藤田嗣治と 彼が愛した布たち (10/17-12/13)								—								ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)								
ギャラリーA	第17回九大美術会 油彩、水彩、日本画、鎌倉彫 など約70点を展示 展観覧者数：676人								第36回 城南区市民アート展 絵画、グラフィックデザイン、 書、写真、工芸を展示 観覧者数：667人								九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科 百瀬ゼミ ナール 写真展 写真約300点を展示 観覧者数：370人								寂寥波(風景回廊・その7) —澤野森都 写真展 デジタルカラープリントによる 写真55点を展示 観覧者数：243人								
ギャラリーB	FUKUOKA ASIA DESIGNERS SHOW 2020 レディー・ガガやMISIAの 衣装を手掛けるなど、 世界で活躍する コスチュームデザイナー ARAKI SHIRO氏による 衣装を展示 観覧者数：577人																								—						IDENTITY：東洋、伝統、美 絵画(アクリル)、写真、装置、 映像を展示 観覧者数：254人		
ギャラリーC																									—								
ギャラリーD																																	
ギャラリーE	第26回九洋展 油彩画を主体とした 平面作品約40点を展示 観覧者数：805人								40年ドローイングと家婦 張り子、布による幕絵、紙による幕絵、 和紙による変形用し絵、変形パネル 油彩画、キャンパス油彩画30点を展示 観覧者数：237人								KAWASAKI NO ARISA NO KOTEN 絵画、現代詩、コラボレーション グッズなど約120点を展示 観覧者数：234人																
ギャラリーF	第55回記念游展 油彩画、水彩画約60点を展示 観覧者数：920人							第23回 石耀展 書作品約50点を展示 観覧者数：614人								日本空間デザイン賞2020 日本サイン デザイン賞2020 受賞作品展 日本空間デザイン賞および日本サインデザ イン賞受賞作品写真パネル約80点を展示 観覧者数：257人								—									

1月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
	曜	金	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日									
特別展示室						ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)								ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)								ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)								ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)													
ギャラリーA						—								—								すぎもりえいとく展 油絵、ミックスメディア、 ドローイング、彫刻約15点を展示 観覧者数：536人								ファインアート展 水彩画、版画、書、木工作品、 金工作品、被服作品、陶芸、 ガラス細工、紙工芸、粘土作品、 ビーズなど約1000点を展示 観覧者数：1,056人													
ギャラリーB						—								—																													
ギャラリーC						—								—																													
ギャラリーD						—								—								—																					
ギャラリーE						—								#美食理箱 個展 退職を機に始めた妻への 弁当作りの記録写真を展示 観覧者数：285人								—																					
ギャラリーF						—								—								—																					

2月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	祝	水	木	金	土	日	
特別展示室		ヒグチユウコ展 CIRCUS (12/24-2/7)								—								—								—						
ギャラリーA		九州産業大学 造形短期大学部 第52回卒業制作展／ 第4回九州産業大学 造形短期大学部との 合同卒業制作展 絵画、彫刻、 グラフィックデザイン、イラスト、 マンガ、フィギュア、インテリア、陶 芸、染色、ファッション、書道、金 工、アニメーション、映像 約300点を展示 観覧者数：1,153人							第70回 福岡市中学校美術展 水彩画、版画、平面構成、彫刻、 立体造作作品、工芸作品、 美術鑑賞レポートなど 約5000点を展示 観覧者数：5,741人							2020アジア デジタルアート大賞展 FUKUOKA 静止画部門受賞作品を展示 観覧者数：605人							—									
ギャラリーB																																
ギャラリーC																																
ギャラリーD																																
ギャラリーE																																
ギャラリーF									サトウ タカシ展 水彩画約60点を展示 観覧者数：277人							坂本かな 個展 パステル、水彩画約30点を展示 観覧者数：261人							サブール 2021 展 in FUKUOKA アフリカコンゴのファッション文化「サブール」の 写真約60点、映像、ファッションアイテムを展示 観覧者数：719人									

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
特別展示室		—								—								—								—							第52回福岡市美術展 観覧者数：476人		
ギャラリーA		第1回 福岡日会展 日本画、洋画、彫刻、 工芸美術、書 約160点を展示 観覧者数：2,202人							アトリエ霽月 仏画展 日本の伝統仏画を中心に額装、軸装の作品約50点を展示 観覧者数：1,267人							勝雲窯 (藤井勝雲 展示会) 有田焼を展示 観覧者数：436人							KO ? SUKE 展 mini アクリル画20点を展示 観覧者数：169人							第52回(令和二年)度福岡市美術展 観覧者数・・・390人					
ギャラリーB									—							日本水彩画会 久留米福岡支部展 水彩画50点を展示 観覧者数：646人							—												
ギャラリーC									—														—												
ギャラリーD									初期衝動 アクリル画、ドローイングなど 約260点を展示 観覧者数：234人														—												
ギャラリーE									—							キャノンフォトクラブ 福岡写真展 写真35点を展示 観覧者数：501人							—												
ギャラリーF									第3回 Freestyle Photo Club 巡回展 写真約50点を展示 観覧者数：380人							soy FIELD 絵画教室 作品展 vol.5 クレパス水彩画、油絵、アクリル画、版画、紙粘土や陶土による立体、パステル画、木炭画、木工作品など約170点を展示 観覧者数：722人							～慈しみ～ オーラアート、仏画35点を展示 観覧者数：371人												

ミュージアムホール等

	ミュージアムホール		アートスタジオ		レクチャールーム		アプローチ広場		ロビー		エスプラナード		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	2	16	6	75	1	25	0	0	0	0	9	116
7月	4	172	11	138	7	58	0	0	0	0	0	0	22	368
8月	6	190	7	110	12	129	2	9	0	0	0	0	27	438
9月	9	340	9	186	9	124	1	2	0	0	0	0	28	652
10月	10	569	11	198	13	182	0	0	1	5	－	－	35	954
11月	15	1,752	16	207	11	92	2	644	－	－	2	310	46	3,005
12月	9	679	9	102	15	281	0	0	0	0	0	0	33	1,062
1月	9	353	7	90	8	72	0	0	1	7	0	0	25	522
2月	10	258	9	79	9	108	0	0	7	10	0	0	35	455
3月	5	289	12	158	13	176	0	0	0	0	0	0	30	623
合計	77	4,602	93	1,284	103	1,297	6	680	9	22	2	310	290	8,195

※エスプラナードの利用者数について、令和2年10月1件はロビーと同利用者のため利用人数はロビーに反映
※ロビーの利用者数について、令和2年11月1件はアプローチ広場と同利用者のため利用人数はアプローチ広場に反映

令和2年度月別観覧者数

室名	コレクション展		特別展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催延べ日数(日)	観覧者数(人)
4月	3	234	0	0	6	484	9	718
5月	12	1,021	0	0	12	229	24	1,250
6月	25	2,370	0	0	18	1,117	43	3,487
7月	27	4,672	0	0	16	1,716	43	6,388
8月	26	5,395	0	0	77	8,353	103	13,748
9月	25	5,142	0	0	55	3,781	80	8,923
10月	27	7,653	14	4,819	66	7,958	107	20,430
11月	25	10,382	25	8,936	43	5,075	93	24,393
12月	24	6,100	16	9,117	72	5,854	112	21,071
1月	24	4,447	24	11,949	23	2,440	71	18,836
2月	24	5,172	6	5,003	36	8,756	66	18,931
3月	26	5,897	0	0	64	7,794	90	13,691
合計	268	58,485	85	39,824	488	53,557	841	151,866

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは令和2年度のもの
任期 令和3年3月1日から令和5年2月28日まで

会長	浦上 雅司	福岡大学人文学部教授
副会長	植野 かおり	立花家史料館館長
学校教育関係者	片山 寛詞	福岡市立城西中学校校長
	藤野 健一	福岡市立北崎小学校校長
社会教育関係者	尾石 静雄	福岡市公民館館長会副会長(西区姪浜公民館館長)
	篠隈 明美	福岡市七区男女共同参画協議会代表(南区男女共同参画連絡会会長)
	松尾 さち	社会福祉法人JOY 明日への息吹 JOY倶楽部職業(美術)指導員
家庭教育関係者	重永 侑紀	特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表理事
学識経験者	李 善姬	韓国語講師
	黒岩 俊哉	九州産業大学芸術学部教授/学部長
	千 相哲	九州産業大学地域共創学部教授/学部長
	山内 光枝	美術家・映像作家
	山内 泰	NPO法人ドネルモ代表理事

収集審査員

(50音順・敬称略・肩書きは令和2年度のもの)

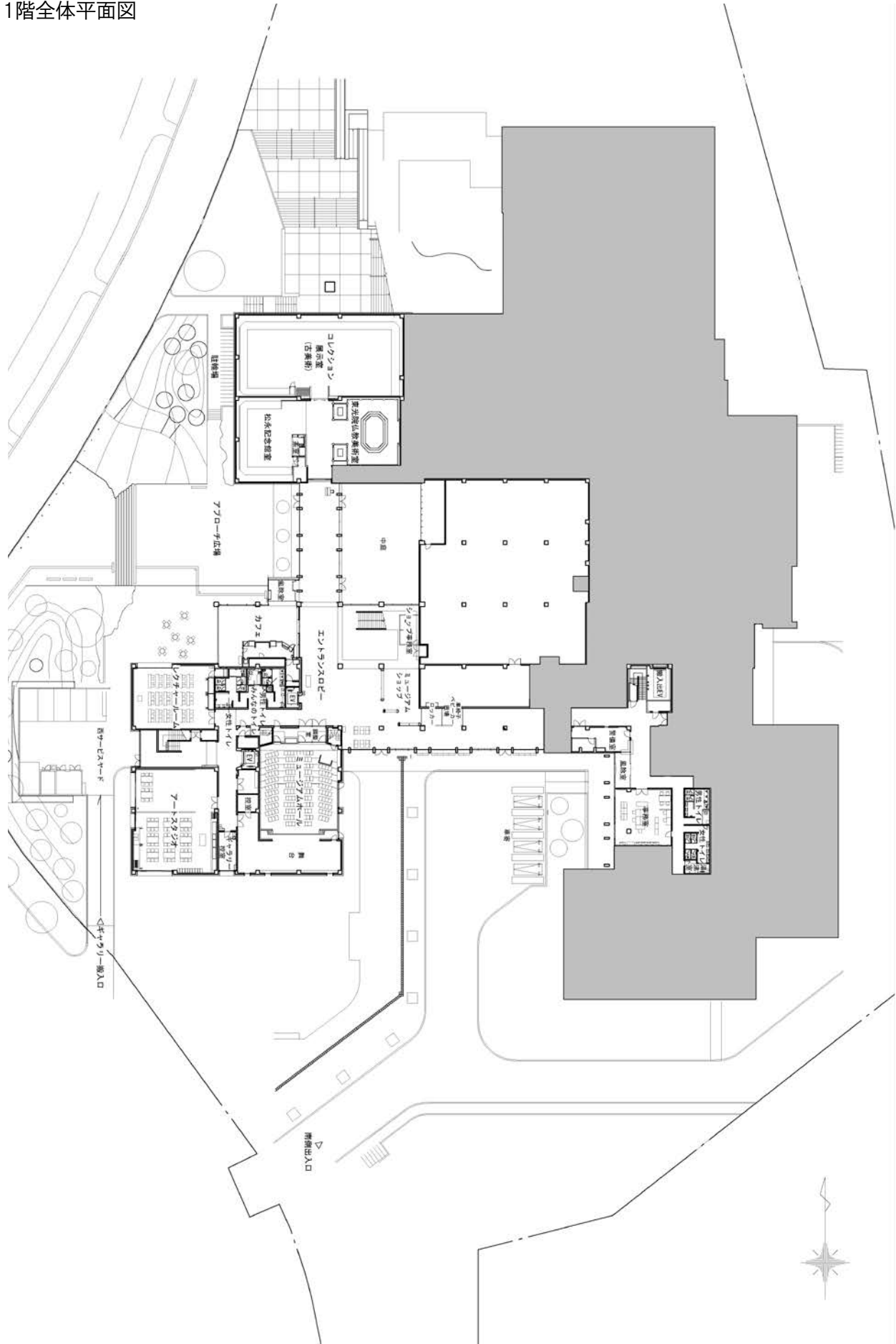
近現代美術	魚里 洋一	福岡県立美術館副館長兼学芸課長
	逢坂 恵理子	国立新美術館館長
	尾崎 信一郎	鳥取県立博物館副館長
	西村 勇晴	北九州市立美術館館長
古美術	植野 かおり	立花家史料館館長
	原田 あゆみ	九州国立博物館学芸部文化財課長

職員

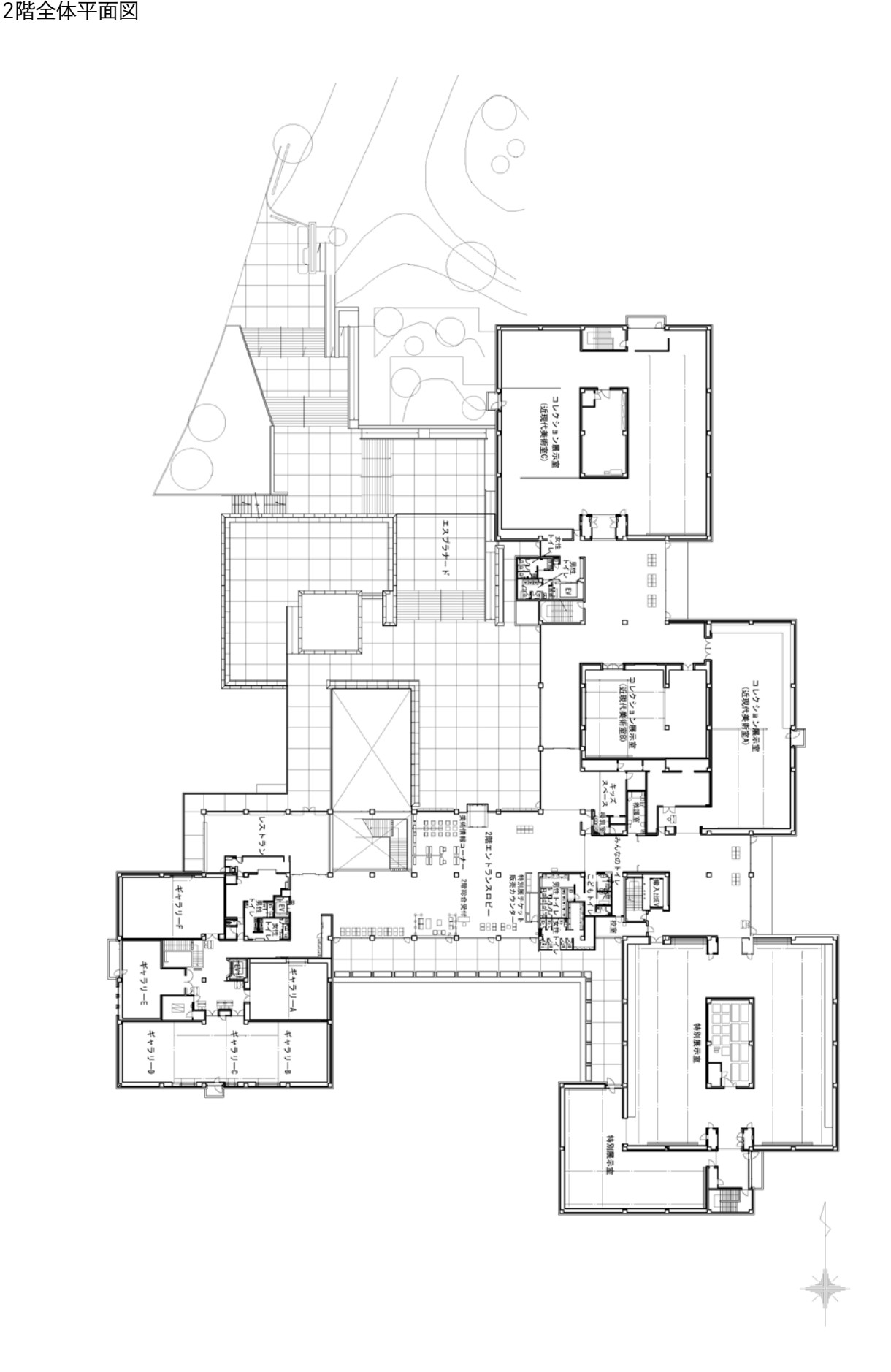
総館長	中山 喜一郎
館長事務代理運営部長	岩永 悦子
事業管理課長	金子 りか
事業管理係長	高木 啓
	田中 孝典
	鍋嶋 淳史
学芸課長	運営部長事務取扱
学芸係長	山口 洋三
	正路 佐知子
	渡抜 由季
	忠 あゆみ
主任学芸主事	鬼本 佳代子
	崎田 明香
主任学芸主事	後藤 恒
	宮田 太樹
会計年度任用職員	田實 智子
会計年度任用職員	徳永 昭夫
会計年度任用職員	中務 美紀
会計年度任用職員	中原 千代子
会計年度任用職員	上野 真歩

資料

福岡市美術館
1階全体平面図



福岡市美術館
2階全体平面図



施設概要

1. 建築概要

所在地	福岡県福岡市中央区大濠公園 1 番 6 号
設計	〔新築〕 前川國男建築設計事務所 〔改修〕 福岡アートミュージアムパートナーズ(株) (㈱粹設計)
施工	〔新築〕 戸田建設(株)ほか 〔改修〕 福岡アートミュージアムパートナーズ(株) (㈱大林組)
工期	〔新築〕 1978 (昭和53)年 1 月～ 1979 (昭和54)年 10 月 〔改修〕 2017 (平成29)年 6 月～ 2018 (平成30)年 9 月
敷地面積	25,845.71㎡
建築面積	8,639.28㎡
延床面積	14,713.66㎡（本館14,630.38㎡）
各階面積	1 階：8,271.82㎡（付属棟含む） 2 階：6,242.24㎡ 屋上階：199.60㎡
最高高さ	15.00m
主体構造	鉄筋コンクリート造
主要な外部仕上げ	外壁：磁器質タイル打ち込みPC板 屋根：耐候性鋼板/瓦棒葺き/フッ素樹脂塗装 床：器室タイル

主要施設

■展示室 東光院仏教美術室（1 階） 古美術企画展示室（1 階） 松永記念館室（1 階） 近現代美術室 A（2 階） 近現代美術室 B（2 階） 近現代美術室 C（2 階） 特別展示室（2 階）床面積：1,054㎡、有効展示壁面長：327m、天井高：5 m・3.9m ギャラリー A（2 階）床面積：100㎡、有効展示壁面長：51.12m、天井高：4 m ギャラリー B（2 階）床面積：78.5㎡、有効展示壁面長：40.78m、天井高：4 m ギャラリー C（2 階）床面積：110㎡、有効展示壁面長：39.98m、天井高：4 m ギャラリー D（2 階）床面積：81㎡、有効展示壁面長：41.18m、天井高：4 m ギャラリー E（2 階）床面積：82㎡、有効展示壁面長：40.79m、天井高：4 m ギャラリー F（2 階）床面積：139㎡、有効展示壁面長：61.17m、天井高：4 m

■その他施設 ミュージアムホール（1 階） 面積：288.2㎡ 定員：180席・車椅子席 2 席 付帯：ホール控室、音響機器、照明設備 用途：講演会、上映会、演劇、コンサートなど
--

アートスタジオ（1 階） 面積：209.82㎡ 天井高：3 m 定員：72席（6 人掛け工作台 12台） 付帯：流し台、大型鏡、可動壁 用途：ワークショップ、パフォーマンス、レクチャー、トークショーなど
レクチャールーム（1 階） 面積：124.95㎡ 天井高：3 m 定員：54席（スクール形式 3 人掛け）、長机18台 付帯：スクリーン、流し台、音響機器 用途：講座、研修、ワークショップなど

関連法規

○福岡市美術館条例

	昭和54年 3 月 8 日 条例第38号
改正	昭和59年 3 月29日 条例第41号
	平成元年 3 月31日 条例第34号
	平成 7 年 3 月 9 日 条例第44号
	平成10年10月 1 日 条例第47号
	平成14年 3 月28日 条例第38号
	平成24年 3 月29日 条例第38号
	平成30年 3 月29日 条例第40号

（設置）
第 1 条　市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福岡市美術館（以下「美術館」という。）を福岡市中央区大濠公園に設置する。
（事業）
第 2 条　美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。 （1）美術作品その他の美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）を収集し、保管し及び展示すること。 （2）美術に関する調査及び研究を行うこと。 （3）美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し及びその奨励を行うこと。 （4）施設の利用に関すること。 （5）前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的達成に必要なこと。
（職員）
第 3 条　美術館に館長その他必要な職員を置く。
（観覧料）
第 4 条　美術館が主催して展示する美術作品等を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。（利用の許可）
第 5 条　美術館の施設（別表第 2 に掲げるものに限る。）を専用的に利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「許可利用者」という。）が、許可を受けた事項を変更しようとするときもまた同様とする。
2　教育委員会は、前項の許可に際して、美術館の管理上必要な条件を付すことができる。（平成30条例40・一部改正）
（利用の制限）
第 6 条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、美術館の利用を拒み、又は前条に規定する許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。 （1）利用者（利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。）が美術館の設置の目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。 （2）利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。 （3）前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。
2　前項の措置によつて利用者が損害を受けても、本市はその責めを負わない。（入館の制限）

第 7 条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（1）他人に迷惑をかけ、若しくは展示品又は施設設備等を損傷するおそれがあると認められるもの

（2）管理上の指示又は指導に従わないもの

（3）管理上支障があると認められるもの

（利用する権利の譲渡等の禁止）

第 8 条　許可利用者は、美術館を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。（平成30条例40・一部改正）

（特別な設備）

第 9 条　許可利用者は、美術館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めたときは、この限りでない。

2　教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、許可利用者の負担において特別な設備をさせることができる。

3　前 2 項に規定する設備は、利用許可期限満了前に許可利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。

4　許可利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれを行い、その費用を許可利用者から徴収する。（平成30条例40・一部改正）

（使用料）

第10条　次の各号に掲げる者からは、当該各号に定める額の使用料を徴収する。

（1）許可利用者　別表第 2 に定める額の使用料
（2）駐車場を利用する者　別表第 3 に定める額の駐車場使用料

2　前項第 1 号の使用料は、前納とする。
3　第 1 項第 2 号の駐車場使用料は、駐車場を利用した者が出庫するときに徴収する。（平成30条例40・一部改正）

（撮影等の許可及び手数料）

第11条　学術研究等のため、美術館に展示され、又は所蔵されている美術作品等の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2　前項に規定する許可を受けた者からは、1 点 1 回につき2,200円 の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。（平成 7 条例44・一部改正）

（観覧料等の不還付）

第12条　既納の観覧料、使用料及び手数料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。（観覧料等の減免）

第13条　教育委員会は、特別の理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。（利用者の管理義務）

第14条　利用者は、利用期間中その利用に係る美術館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもつて管理しなければならない。（損害賠償）

第15条　利用者が、美術館の施設、付属施設、展示品又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。（立入り）

第16条　許可利用者は、美術館の管理の業務に従事する者が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。（平成30条例40・一部改正）

（美術館協議会）

第17条　博物館法（昭和26年法律第285号）第20条の規定により、

- 美術館に美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
- 2 協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例（平成10年福岡市条例第47号）により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を述べるものとする。
- 3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
- 4 協議会の委員の定数は、20人以内とする。
- 5 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（平成10条例47・平成24条例38・一部改正）

（委任）

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

- 附 則
- （施行期日）
- 1 この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。
- （昭和54年教規則第11号により昭和54年11月3日から施行）
- （福岡市美術館条例の廃止）
- 2 福岡市美術館条例（昭和53年福岡市条例第37号）は、廃止する。
- （施行日前における許可等）
- 3 第1項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、この条例の施行の日以後の美術館の利用について教育委員会規則で定めるところにより利用の許可をし、及び使用料を徴収することができる。
- 附 則（昭和59年3月29日条例第41号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。

- 附 則（平成元年3月31日条例第34号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成7年3月9日条例第44号）
- （施行期日）

- 1 この条例は、平成7年5月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成10年10月1日条例第47号）抄
- （施行期日）
- 1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

- （平成10年教委規則第7号により平成11年1月1日から施行）
- 附 則（平成14年3月28日条例第38号）
- この条例は、平成14年4月1日から施行する。
- 附 則（平成24年3月29日条例第38号）
- この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 附 則（平成30年3月29日条例第40号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
- （平成30年教委規則第14号により平成31年3月21日から施行）

- （施行日前における利用の許可等）
- 2 前項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、同日以後の美術館（この条例による改正後の福岡市美術館条例（以下「改正後の条例」という。）別表第2に掲げる施設に限る。）の利用について、改正後の条例の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。

別表第1

（平成元条例34・平成14条例38・一部改正）

区分		金額	
		個人	20人以上の団体
常設展示 観覧	一般	200円	1人につき 150円
	大学生・高校生	150円	1人につき 100円
特別展示観覧		1人につき2,000円以内で 教育委員会が定める額	

- 備考
- 1 常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の観覧をいう。
- 2 一般とは、大学生・高校生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

別表第2

（昭和59条例41・平成元条例34・平成7条例44・平成30条例40・一部改正）

- 1 展示室使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-------|----|--------|
| 特別展示室 | | 36,600 |
| ギャラリー | A | 3,700 |
| | B | 2,700 |
| | C | 3,700 |
| | D | 2,700 |
| | E | 2,700 |
| | F | 4,600 |
- 2 ホール等使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-----------|--------|-------|
| レクチャールーム | 1時間につき | 1,100 |
| アートスタジオ | | 2,200 |
| ミュージアムホール | | 2,200 |
- 3 ロビー等使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-----------|-------|-------|
| ロビー | 1日1平方 | 200 |
| エスプラナード | メートルに | 200 |
| アプローチスペース | つき | 200 |

- 備考
- 1 許可利用者が入館者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の2倍の額とする。
- 2 使用料の算定に当たって用いる日数又は時間数に1日又は1時間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間とみなす。
- 3 ギャラリーB又はギャラリーDに係る許可利用者は、ギャラリーCの一部について第5条第1項の許可を受けることができるものとする。この場合において、ギャラリーCに係る使用料の額は、この表の金額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 4 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

別表第3

（平成30条例40・追加）

区分	単位	金額(円)
普通自動車	1台1回につき	200
準中型自動車	1時間までごとに	200
中型自動車	1台1回につき	2,000
大型自動車	1日までごとに	2,000

備考 普通自動車とは道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条に規定する普通自動車を、準中型自動車とは同条に規定する準中型自動車を、中型自動車とは同条に規定する中型自動車を、大型自動車とは同条に規定する大型自動車をいう。

○福岡市美術館条例施行規則

- 昭和54年7月2日
教育委員会規則第12号
- 改正 昭和59年3月31日教規則第3号
- 昭和61年3月31日教規則第2号
- 昭和63年3月31日教規則第15号
- 平成元年3月31日教規則第9号
- 平成3年3月28日教規則第7号
- 平成5年3月29日教規則第1号
- 平成5年3月29日教規則第8号
- 平成5年6月28日教規則第13号
- 平成6年3月31日教規則第13号
- 平成7年3月30日教規則第17号
- 平成8年3月28日教規則第7号
- 平成9年3月31日教規則第5号
- 平成12年3月30日教規則第1号
- 平成14年3月28日教規則第10号
- 平成14年7月1日教規則第12号
- 平成17年3月31日教規則第9号
- 平成17年7月14日教規則第12号
- 平成18年10月30日教規則第9号
- 平成19年3月29日教規則第8号
- 平成19年6月28日教規則第10号
- 平成22年3月29日教規則第2号
- 平成24年3月29日教規則第8号
- 平成27年10月8日教規則第18号
- 平成29年3月30日教規則第6号
- 平成30年3月29日教規則第5号
- 平成30年10月1日教規則第15号

- （趣旨）
- 第1条 この規則は、福岡市美術館条例（昭和54年福岡市条例第38号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条及び第3条 削除
- （平成24教規則8）
- （職員）
- 第4条 福岡市美術館（以下「美術館」という。）に館長及び学芸課長を置く。
- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 館長及び学芸課長は、職員のうちから命じる。
- 4 館長は、上司の命を受けて、美術館の事務を統理し、所属職員を指揮監督する。
- 5 学芸課長は、上司の命を受けて、美術館の事務を掌理し、及び処理する。
- 6 その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。
- （平成24教規則8・全改）

- （職務権限の代行）
- 第5条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、学芸課長が館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受けなければならない。
- 2 前項の規定により、館長の職務権限を代理して行う者がないときは、館長の職務権限は、教育次長が行う。
- （平成24教規則8・一部改正）
- （開館時間）
- 第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時30分まで（毎年7月から10月までの間の各月の金曜日及び土曜日（以下「特

例日」という。)においては、午後8時まで)とする。ただし、入館は、午後5時まで(特例日においては、午後7時30分まで)とする。

2 次の各号に掲げる施設の供用時間は、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 条例別表第2 2 ホール等使用料の表に掲げる施設 午前9時30分から午後9時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後9時まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、開館時間又は前項第1号の施設の供用時間(以下「開館時間等」という。)を変更することができる。

(平成5教規則13・平成9教規則5・平成30教規則5・平成30教規則15・一部改正)

(休館日)

第7条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいう。以下同じ。))に当たるときは、その日後において最初の休日でない日)

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(平成9教規則5・平成17教規則9・平成30教規則15・一部改正)

(展示室等の利用)

第8条 条例第5条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、福岡市美術館施設利用許可申請書(様式第1号)により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、展示室については、利用しようとする日が1月1日から6月30日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の前年の7月31日までに、7月1日から12月31日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の1月31日までに行わなければならない。ただし、教育長が必要と認める場合は、この限りでない。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用の許可)

第9条 教育長は、美術館の施設の利用を許可したときは、福岡市美術館施設利用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

(利用の取止め)

第10条 美術館の施設の利用の許可を受けた者(以下「許可利用者」という。))が、利用の取止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市美術館施設利用取止め届(様式第3号)を教育長に提出しなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(図書の利用)

第11条 美術館の図書の利用に関し必要な事項については、館長が別に定める。

(利用時間)

第12条 美術館の利用時間には、準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

(開館時間等以外の利用)

第13条 美術館の開館時間等以外及び休館日の利用は、美術館の運営上支障がない場合にのみ許可する。

(平成30教規則5・一部改正)

(撮影等の許可)

第14条 条例第11条第1項の規定により美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。))の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。))の許可を受けようとする者は、撮影等許可申請書(様式第4号)により館長に申請しなければならない。

2 館長は、前項の許可をしたときは、撮影等許可書(様式第5号)

を交付するものとする。

3 撮影等の許可は、観覧者の観覧に支障がなく、かつ、美術作品等の管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

(平成24教規則8・一部改正)

(入館者及び許可利用者の心得)

第15条 美術館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 建物、付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他の入館者に迷惑をかけないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 許可なくして物品を販売し、又は展示しないこと。

(6) 館内を不潔にしないこと。

(7) 許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。

(8) 施設、設備等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。

(9) 所定の場所以外に出入りしないこと。

(10) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から美術館の管理の業務に従事する者が行う指示又は指導に従うこと。

2 許可利用者は、前項に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 収容人員は、当該施設の所定の人員を超えないこと。

(2) 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設への入場を拒絶し、又は退場を命ずること。

(3) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。

(4) 当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用後の点検)

第16条 許可利用者は、施設、設備、備品等の使用を終わつたときは、美術館の管理の業務に従事する者の点検を受けなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(付属設備の使用料)

第17条 美術館の付属設備の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

(撮影等の手数料)

第18条 条例第11条第2項に規定する手数料の額は、別表第2のとおりとする。

(使用料及び手数料の徴収)

第19条 条例第10条第1項第1号の使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 手数料は、撮影等の開始までに徴収する。

(平成6教規則13・平成30教規則5・一部改正)

第19条の2 駐車場を利用する者は、自動車を入庫させるときに、駐車券(様式第2号の2)の交付を受けなければならない。

2 駐車場を利用した者が自動車を出庫させるときは、前項の規定に基づき交付を受けた駐車券により、条例第10条第1項第2号の駐車場使用料(以下「駐車場使用料」という。))を清算しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(使用料の還付)

第20条 条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 天災地変その他不可抗力により利用できなくなつたとき 全額

(2) 許可利用者(展示室の許可利用者を除く。))が利用日の10日

前までに利用取止め届を提出したとき 全額

(3) 許可利用者が利用日の5日前(展示室の許可利用者については3月前)までに利用取止め届を提出したとき 5割相当額

(平成30教規則5・一部改正)

(観覧料の減免)

第21条 条例第13条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 義務教育諸学校の児童又は生徒の引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(2) 障がい者(療育手帳、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「療育手帳等」という。))の交付を受けている者をいう。以下同じ。))又は特定医療費(指定難病)受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(以下「医療受給者証等」という。))の交付を受けている者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(3) 障がい者の介護者が常設展示を観覧するとき 介護者1人の当該観覧料の全額

(4) 市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(5) 美術館の入館者が国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項第1号又は第6号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館観覧料減免申請書(様式第6号)により教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 観覧料の減免を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める書類を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(1) 第1項第2号の規定により減免を受ける場合 療育手帳等又は医療受給者証等

(2) 第1項第4号の規定により減免を受ける場合 本市が発行するシルバー手帳又は官公署が発行する証明書等(本人の氏名、住所及び生年月日が記載されているものに限る。))

(昭和59教規則3・追加、昭和63教規則15・平成8教規則7・平成14教規則10・平成14教規則12・平成17教規則9・平成17教規則12・平成24教規則8・平成27教規則18・平成29教規則6・平成30教規則5・一部改正)

(使用料の減免)

第22条 条例第13条の規定による使用料(駐車場使用料を除く。))の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 全額

(2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 5割相当額

(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 全額

(4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 5割相当額

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館使用料減免申請書(様式第7号)により教育長に申請しなければならない。ただし、本市が主催する行事に利用する場合は、

この限りでない。

(昭和59教規則3・追加、平成30教規則5・一部改正)

(駐車場使用料の減免)

第22条の2 次に掲げる自動車に係る駐車場使用料は、全額を免除するものとする。

(1) 本市の公用自動車

(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事のために利用する自動車

(3) 障がい者又は医療受給者証等の交付を受けている者が運転し、又は同乗する自動車

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認める自動車

2 前項第3号の規定により駐車場使用料の減免を受けようとする者は、療育手帳等又は医療受給者証等を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(美術館協議会の会長及び副会長)

第23条 条例第17条に規定する美術館協議会(以下「協議会」という。))に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(昭和59教規則3・旧第21条繰下)

(会議)

第24条 協議会の会議(以下「会議」という。))は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(昭和59教規則3・旧第22条繰下)

(委任)

第25条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

(昭和59教規則3・旧第23条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和54年11月3日から施行する。ただし、第3項の規定は、公布の日から施行する。

(福岡市美術館条例施行規則の廃止)

2 福岡市美術館条例施行規則(昭和53年福岡市教育委員会規則第14号)は、廃止する。

(施行日前における許可等)

3 条例附則第3項の規定による条例の施行の日における条例の施行の日以後の美術館の利用の許可及び使用料の徴収については、次の各号の定めるところによる。

(1) 美術館の施設の利用の許可については、条例第5条及び第6条並びにこの規則第8条第1項及び第9条の規定の例による。

(2) 使用料の徴収については、条例第4条、第10条、第12条及び第13条並びにこの規則第17条、第19条第1項及び第20条の規定の例による。

附 則(昭和59年3月31日教規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、この規則の施行の日(以下「施行日」という。))前に施行日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用又は撮影等に係る使用料及び手数料を利用の開始又は撮影等の開始までに納付している者

の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則（昭和61年 3月31日教規則第 2号）
この規則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則（昭和63年 3月31日教規則第15号）
（施行期日）

1 この規則は、昭和63年 4月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正後の福岡市立今宿野外活動センター条例施行規則第12条、福岡市立少年科学文化会館条例施行規則第15条の3及び福岡市美術館条例施行規則第21条第3項中「シルバー手帳」とあるのは、当分の間、「シルバー手帳若しくは老人福祉手帳」とする。

附 則（平成元年 3月31日教規則第 9号）
この規則は、平成元年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 3年 3月28日教規則第 7号）
この規則は、平成 3年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 5年 3月29日教規則第 1号）
この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 5年 3月29日教規則第 8号）
（施行期日）

1 この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成 5年 6月28日教規則第13号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 6年 3月31日教規則第13号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 7年 3月30日教規則第17号）
（施行期日）

1 この規則は、平成 7年 4月 1日から施行する。ただし、別表第 1及び別表第 2の改正規定並びに次項の規定は、平成 7年 5月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第 1及び別表第 2の規定にかかわらず、平成 7年 5月 1日前に同日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用に係る使用料又は撮影等に係る手数料を納付している者の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成 8年 3月28日教規則第 7号）
この規則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 9年 3月31日教規則第 5号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成12年 3月30日教規則第 1号）
この規則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附 則（平成14年 3月28日教規則第10号）
この規則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則（平成14年 7月 1日教規則第12号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年 3月31日教規則第 9号）
この規則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則（平成17年 7月14日教規則第12号）
（施行期日）

1 この規則は、平成17年 7月15日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成18年10月30日教規則第 9号）
この規則は、平成18年11月 1日から施行する。

附 則（平成19年 3月29日教規則第 8号）
この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則（平成19年 6月28日教規則第10号）
この規則は、平成19年 7月 1日から施行する。

附 則（平成22年 3月29日教規則第 2号）
この規則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則（平成24年 3月29日教規則第 8号）
この規則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則（平成27年10月 8日教規則第18号）
この規則は、平成27年11月 1日から施行する。

附 則（平成29年 3月30日教規則第 6号）
この規則は、平成29年 4月 1日から施行する。

附 則（平成30年 3月29日教規則第 5号）
（施行期日）

1 この規則は、福岡市美術館条例の一部を改正する条例（平成30年福岡市条例第40号）の施行の日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市美術館条例施行規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成30年10月 1日教規則第15号）
（施行期日）

1 この規則は、平成31年 3月21日から施行する。
（施行日前における利用の許可等）

2 この規則の公布の日以後においては、この規則の施行の日前においても、同日以後の美術館の付属設備の利用について、この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。

別表第 1

（昭和59教規則 3・平成 7教規則17・平成30教規則15・一部改正）

種別	区分	単位	金額(円)
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330
映写設備	スライド映写機	一式1時間	440
	8ミリ映写機	一式1時間	440
	16ミリ映写機	一式1時間	770
	プロジェクター	1台1時間	720
	書画カメラ	1台1時間	440
	ブルーレイプレイヤー	1台1時間	200
音響照明設備	スポットライト	一式1時間	220
	マイクロホン	一式1時間	220
	メモリーオーディオプレイヤー	1台1時間	200

備考 付属設備の使用時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを切り上げる。

別表第 2

（昭和59教規則 3・平成 7教規則 17・一部改正）

撮影等手数料			
区分		金額(円)	備考
撮影	モノクローム	A 220	Aは学術研究を目的とする場合、Bは学術研究以外を目的とする場合とする。
		B 1,650	
	カラー	A 440	
		B 2,200	
模写, 模造		1,650	
熟覧		330	

様式第 1 号

福岡市美術館施設利用許可申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地
団体名
代表者
(電話)

次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので、許可を申請します。
なお、利用に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

利用する施設		会場責任者氏 名	(電話)
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで	搬入 (時 分から 時 分まで)
		日間	展示 月 月 日から 月 月 日まで
	その他の施設	年 月 日(曜) 時 分から 時 分まで	搬出 (時 分から 時 分まで)
利用目的	催物の名称		
入 場 料	有料 (大人 円 学生 円 小人 円)	無料	入場者見込 延べ 人
館内での頒布物	有(有料・無料) 無		
共 催		後 援	
利用する付属設備	1 () 3 () 5 ()		
	2 () 4 () 6 ()		
使用料 (年度)	施設	付 属 設 備	計
	円	円	円

(注) 1 利用期間には、搬入、搬出の日も含まれます。
2 太枠線内のみ記入してください。

様式第 2 号

第 号

年 月 日

様

福岡市教育委員会教育長 国

年 月 日申請の福岡市美術館の施設の利用については、次のとおり許可します。

利用する施設	
利用期間	展示室 年 月 日から 日 日 まで
	その他の施設 年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分 まで
利用目的	
催物の名称	
利用する付属設備	1 () 3 () 5 () 2 () 4 () 6 ()
留 意 事 項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。
	2 搬入及び搬出は、次の日時に行ってください。 搬入 年 月 日 時 分から 時 分まで 搬出 年 月 日 時 分から 時 分まで

様式第2号の2

入 月 日 時 分
出 月 日 時 分

駐車券【兼料金票】
福岡市美術館専用駐車場

様式第3号

福岡市美術館施設利用取止め届

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

団体名

代表者

Ⓜ

(電話)

次のとおり利用を取り止めますので、福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。

許可年月日	年 月 日	許可番号	第 号
利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料 円 付属設備使用料 円		
取止めの理由			

様式第4号

撮 影 等 許 可 申 請 書

年 月 日

(宛先)福岡市美術館長

申請者 住 所

氏 名

(電話)

次のとおり美術作品等の撮影等をしたいので、許可を申請します。

なお、撮影等に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

撮影等の目的					
美術品等の名称	点	数	作	者	名
撮影等の日時					
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧				
備 考					
手数料	撮影	モノクローム	点	円	計
		カラー	点	円	
		模 写 ・ 模 造	点	円	
		熟 覧	点	円	
					円

(注) 太枠線内のみ記入してください。

様式第5号

第 号

撮 影 等 許 可 書

年 月 日

様

福岡市美術館長

図

年 月 日申請の美術作品等の撮影等を許可します。

撮影等の目的			
美術品等の名称	点	数	作 者 名
撮影等の日時			
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧		
留 意 事 項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。 2 撮影等に当たっては、美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。		

様式第6号

福岡市美術館観覧料減免申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

団体名

代表者

Ⓜ

(電話)

福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。

観 覧 目 的			
観 覧 日 時	年 月 日 (曜 日) 時 分から		
観 覧 者 数	小 学 生	学 年	人
	中 学 生	学 年	人
	そ の 他		人
	引 率 者		人

様式第7号

福岡市美術館使用料減免申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地
団体名
代表者
(電話)

福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。

事業名	
主催者名 (共催者名)	
後援者名	
利用施設	
利用期間	年 月 日(曜日) 時 分から 年 月 日(曜日) 時 分まで
本後市援が共る催場又は	※本市が負担する経費の額 円
	当該事業に要する経費の総額 円
摘要	

(注) ※印の欄は、経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

利用案内

開館時間

9：30～17：30（7～10月の金・土曜日は9：30～20：00）
※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日／年末年始
※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
※年末年始休館期間は12月28日～1月4日

観覧料

【コレクション展・企画展】
一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料
ただし、以下の証明書等保持者は提示で観覧無料。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）
※（ ）内は20名様以上の団体料金。
※交通系ICカード等利用可。
【特別展】
特別展によって金額が異なる。

交通案内

【福岡市地下鉄】
空港線 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、
3・6番出口より徒歩10分
七隈線 六本松駅（科学館前）下車、
2番出口より徒歩10分
【西鉄バス】
系統番号13・140 福岡市美術館東口下車、徒歩3分
系統番号6・7・12・113・114・200～206・208
赤坂三丁目下車、徒歩5分
系統番号6-1 福岡城・NHK放送センター入口下車、
徒歩3分
【車】
福岡都市高速「西公園ランプ」から約5分
福岡都市高速「百道ランプ」から約10分
【福岡市美術館専用駐車場】
利用時間 午前9時～午後9時（開館日のみ）
使用料 普通車（26台）：1時間200円、
バス（5台）：1回2,000円／要事前予約



令和2年度

福岡市美術館活動の記録

編集・発行 **福岡市美術館**

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL : 092-714-6051

印刷 株式会社西日本新聞印刷

発行年月日 2021年12月24日

©福岡市美術館 2021年